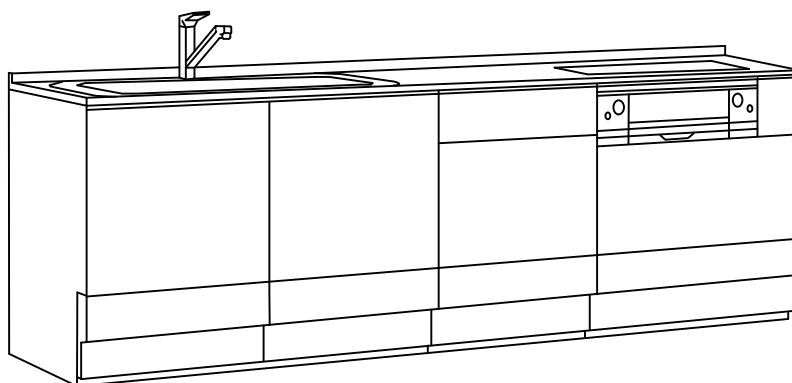
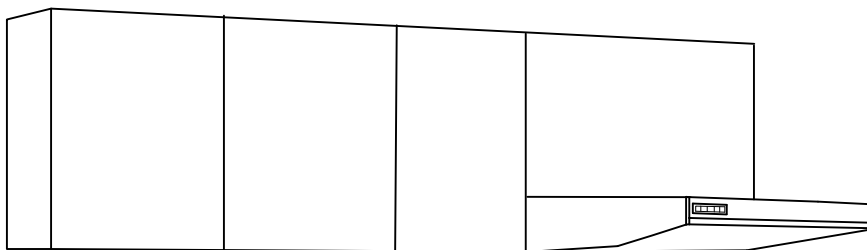


タカラ 奥行60cmホーローシステムキッチン 設置説明書



もくじ

ページ数

1. 設置される方へのお願い	1
2. 安全上のご注意	2～3
3. 設置前のご確認	3
4. 設置方法	4～31
5. 仕上げ	32
6. 安全点検および試運転	32
7. お願い事項	32

1. 設置される方へのお願い

- キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は、ワークトップおよびフロアキャビネットのものです。その他のキャビネットやビルトイン機器および水栓金具については、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- 設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

- 表示内容を見逃して誤った設置作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋をしなくて切断面に触ると、けがをすることがあります。

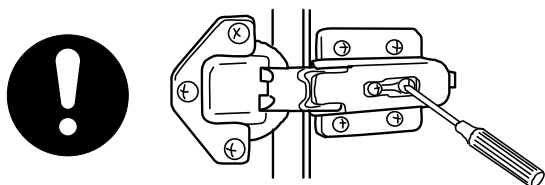
電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをすることがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示に示してあって、正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシーลは確実に行ってください。



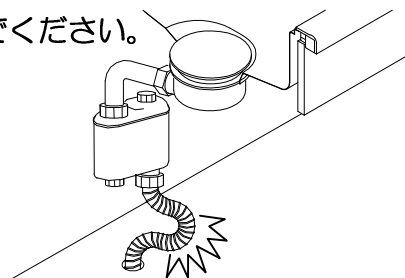
取付けやシーลが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジのゆるみや浮きのないように、正しく取付けてください。



取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。



設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



棚受けがはずれ、食器などが落下してけがをするおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

設置作業中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- 下記の項目についてその位置を確認してください。
 - (1) 給水給湯管・排水管位置
 - (2) 建築側のガス管・電気配線接続位置
 - (3) レンジフードの排気口位置
 - (4) 機器類の電気配線位置
- ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。
- オプション水栓については、付属の説明書をお読みください。

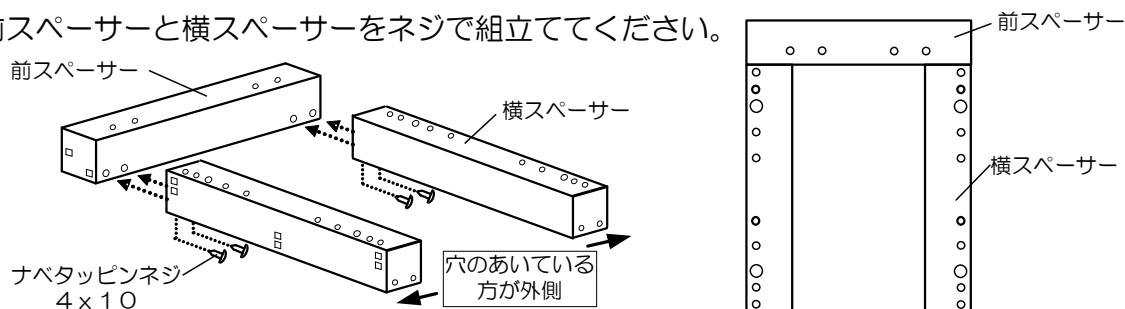
4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1. 台輪スペーサーの取付 → 2. 吊戸棚・レンジフードの取付 → 3. エンドカバーの取付 →
4. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付 → 5. ベースキャビネット設置前の準備作業 →
6. ベースキャビネットの設置 → 7. 水栓の取付 → 8. ワークトップの設置 →
9. 加熱機器の設置 → 10. 食器洗い乾燥機の設置 → 11. 排水蓋・点検口蓋の穴加工 →
12. 排水部品の取付 → 13. 排水管の接続 → 14. 給水・給湯管と水栓の接続 →
15. エンドパネルの取付 → 16. その他部品の取付 → 17. 扉の調整

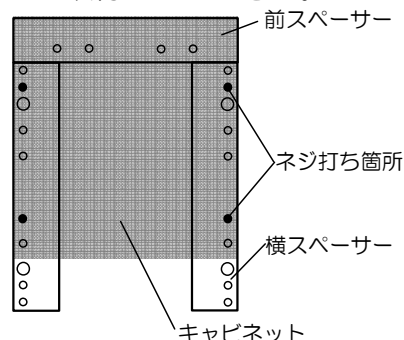
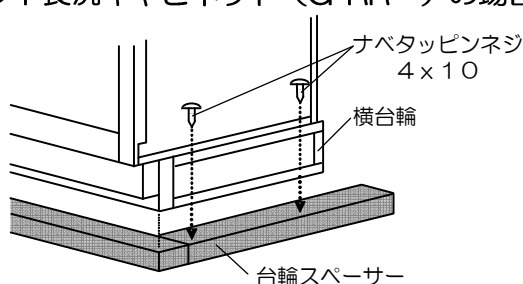
1. 台輪スペーサーの取付（ワークトップ高さ900mmの場合のみ）

①前スペーサーと横スペーサーをネジで組立ててください。

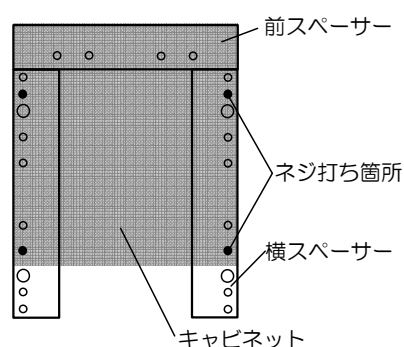
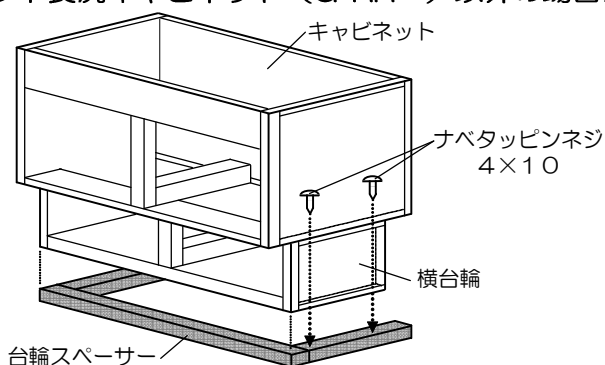


②台輪スペーサーの上にキャビネットを載せ、横台輪からネジで取付けてください。

<シンク下食洗キャビネット（G-RR～）の場合>

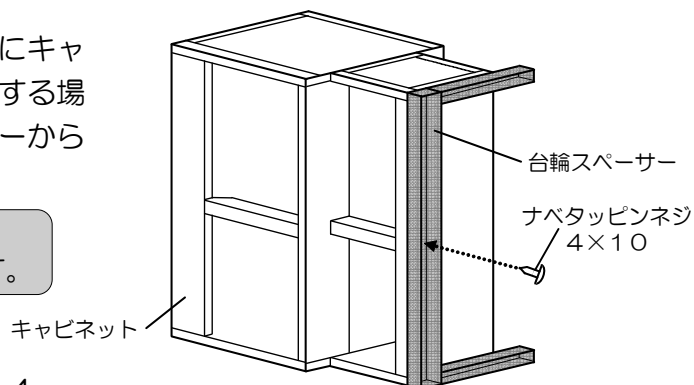


<シンク下食洗キャビネット（G-RR～）以外の場合>



③間口60cm以上のキャビネットで、間口中央部にキャビネットと台輪スペーサーとの間に段差が発生する場合は、キャビネットを横に倒して台輪スペーサーからネジで固定してください。

注）キャビネットは後に倒さないでください。
台輪スペーサーを損傷する恐れがあります。



2. 吊戸棚・レンジフードの取付

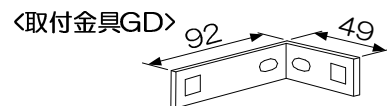
吊戸棚の取付は、シンクキャビネットに付属の設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフードに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

3. エンドカバーの取付

<シンク下食洗キャビネット（G-RR～）以外にエンドカバーを取付ける場合>

①取付金具GU・GDをキャビネットの後面に取付けてください。

（注）取付金具GDは2方向に取付が可能です。取付方向に注意してください。



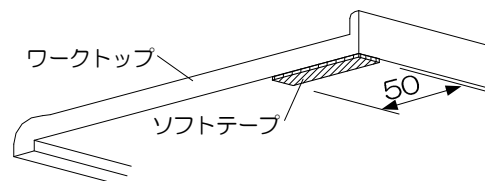
②キャビネットにスペーサーを貼付けてください。

③キャビネットおよび取付金具に樹脂ナットを取付けてください。

エンドカバーを取付けるキャビネット				
	G-M・TDX・KEX～	G-KTX～	F-KTX～	F-TDX・KEX～
取付金具の取付				
スペーサーの貼付・樹脂ナットの取付				
高さ900mmの場合				

注) コンロキャビネットにエンドカバーを取付ける場合は、小引出枠を先にキャビネットに取付けてください。(11ページ参照)

④奥行565mmのキャビネット以外にエンドカバーを取付ける場合は、コーキングのバックアップのため、ワークトップの裏面にソフトテープを貼付けてください。



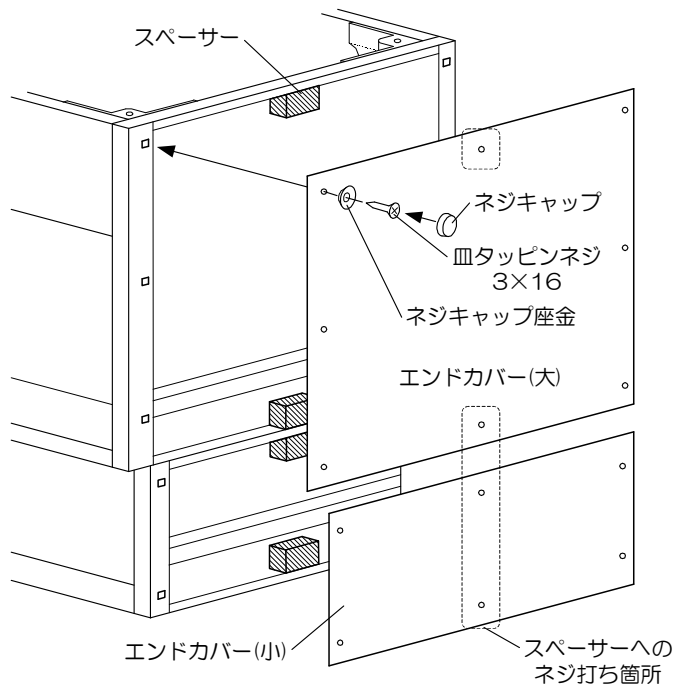
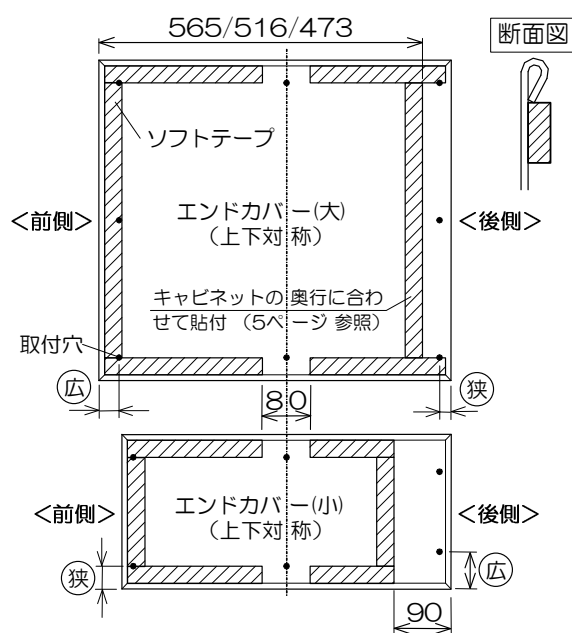
⑤エンドカバーの裏面にソフトテープを貼付けてください。

⑥エンドカバー(小)を取付けてください。

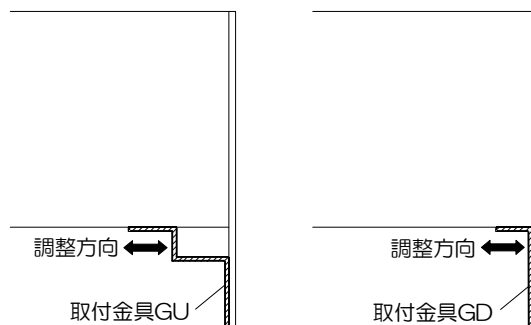
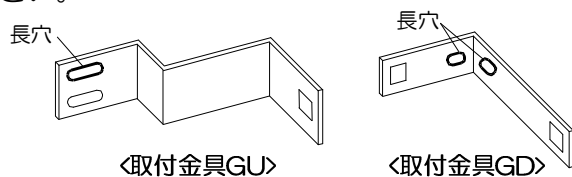
⑦エンドカバー(大)を取付けてください。

注) スペースへのネジ打ちは、樹脂ナットへのネジ打ち終了後に行ってください。

⑧ネジキャップを取付けてください。

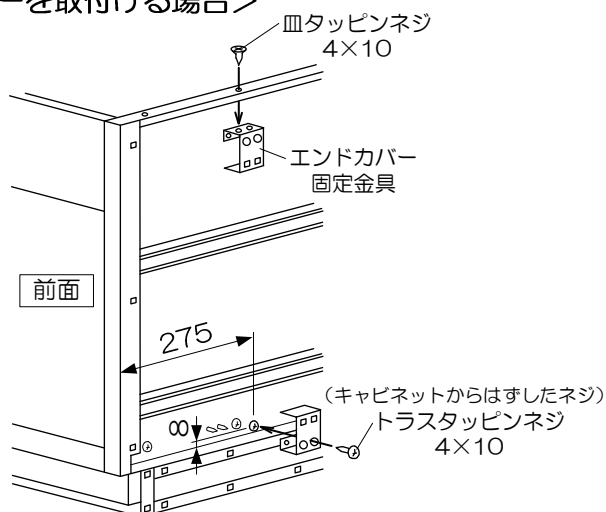


⑨エンドカバーの後部に反りが発生した場合は、取付金具の長穴を利用して反りを矯正してください。



＜シンク下食洗キャビネット (G-RR～) にエンドカバーを取付ける場合＞

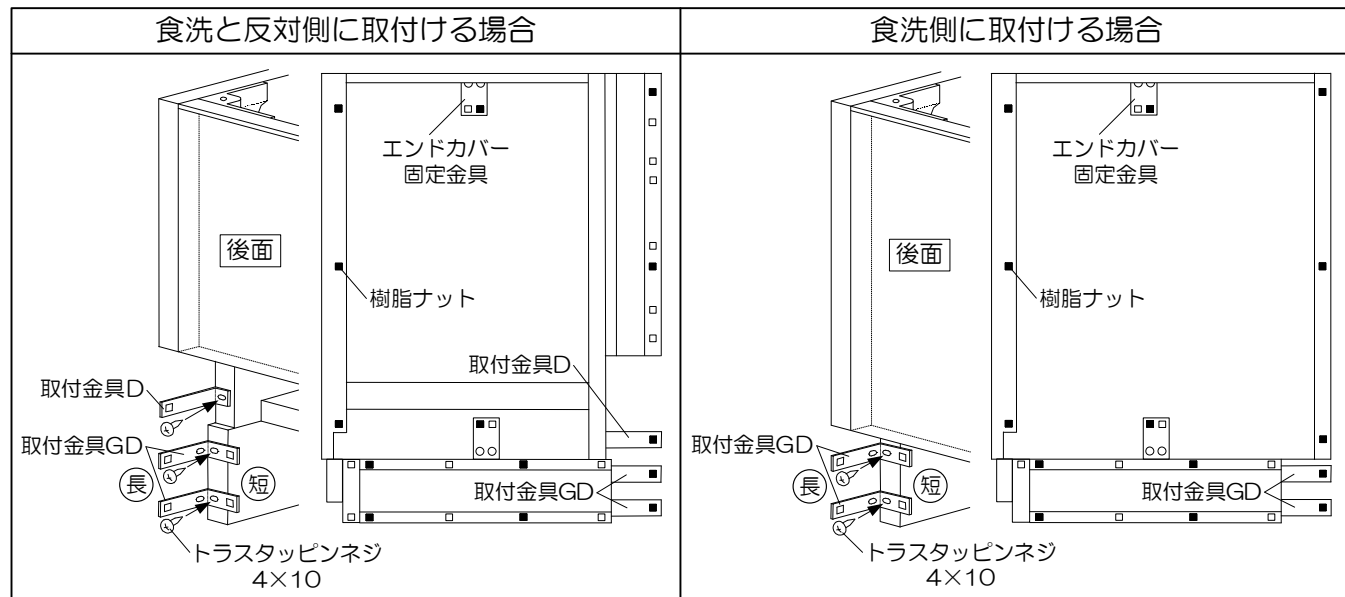
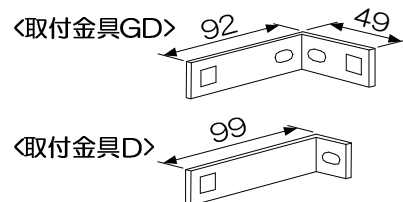
①側板の上部と下部に、エンドカバー取付金具を取付けてください。



②取付金具D・GDをキャビネットの後面に取付けてください。

注) 取付金具は2種類あります。また取付金具GDは2方向に取付が可能なので、種類や取付方向に注意してください。

③キャビネットおよび取付金具に樹脂ナットを取付けてください。

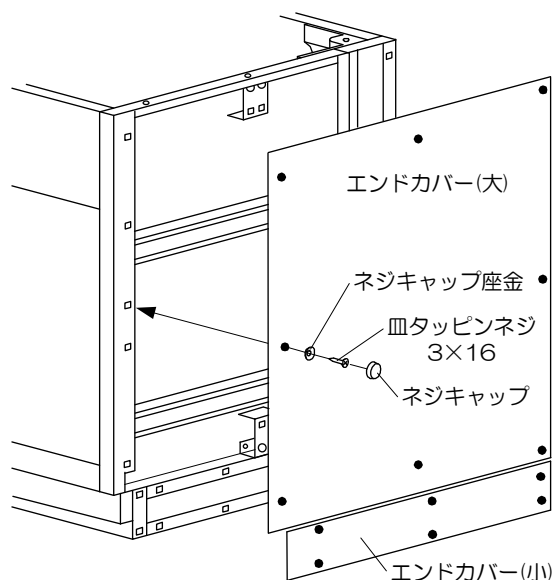
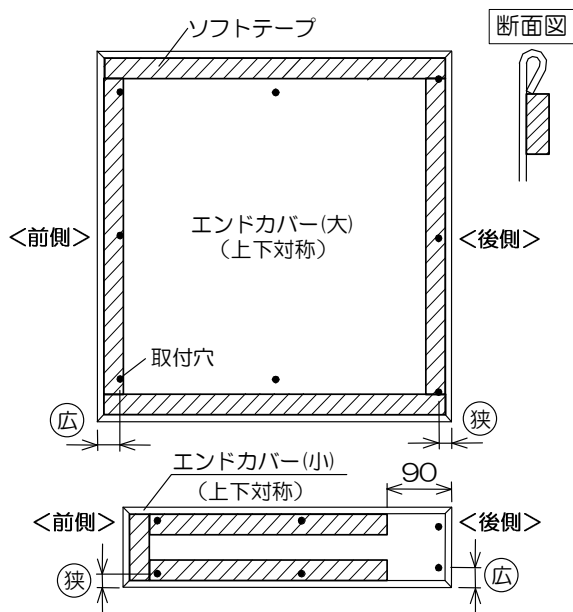
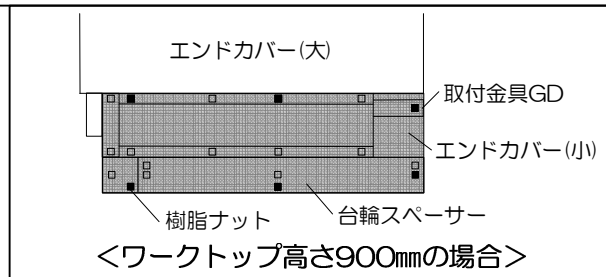


④エンドカバーの裏面にソフトテープを貼付けてください。

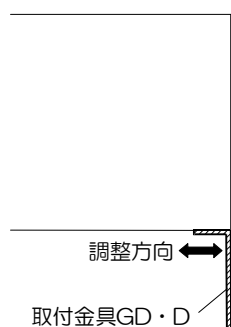
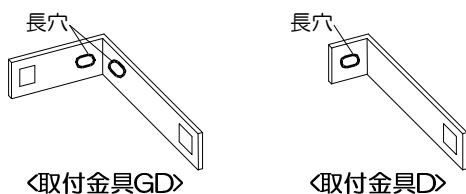
⑤エンドカバー(小)を取付けてください。

⑥エンドカバー(大)を取付けてください。

⑦ネジキャップを取付けてください。



⑧エンドカバーの後部に反りが発生した場合は、取付金具の長穴を利用して反りを矯正してください。



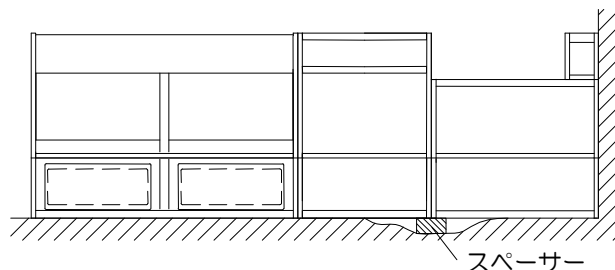
4. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付

フィラーに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

5. ベースキャビネット設置前の準備作業

【1. 床面のレベル出し】

キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、床とキャビネットの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



【2. 側板カバーの貼付】

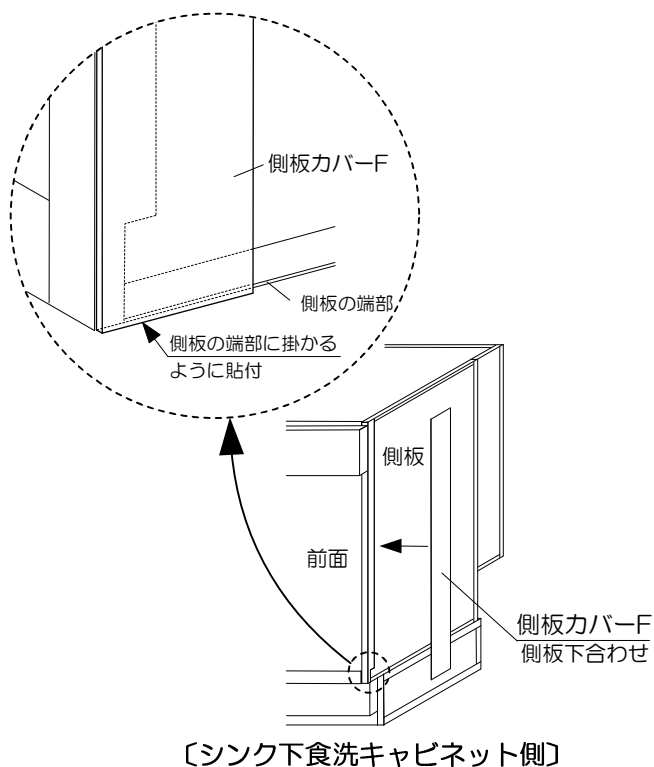
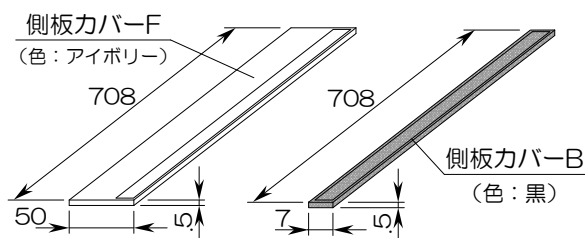
シンク下食洗キャビネット（G-RR～）に隣接するキャビネットの台輪部の引出をあげると、シンク下食洗キャビネットの側面部が露出します。

その側面部を化粧するため、側板カバーを貼付けてください。

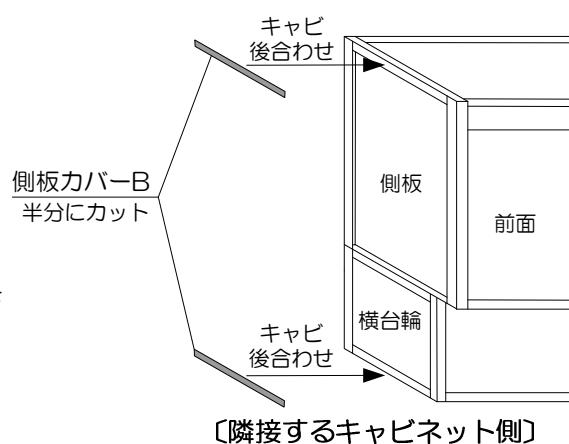
注）側板カバーは寸法・色違いで2種類あります。

下表を参照して使い分けてください。

種類	幅寸法	色	使用箇所
側板カバーF	50mm	アイボリー	キャビネット前側
側板カバーB	7mm	黒	キャビネット後側



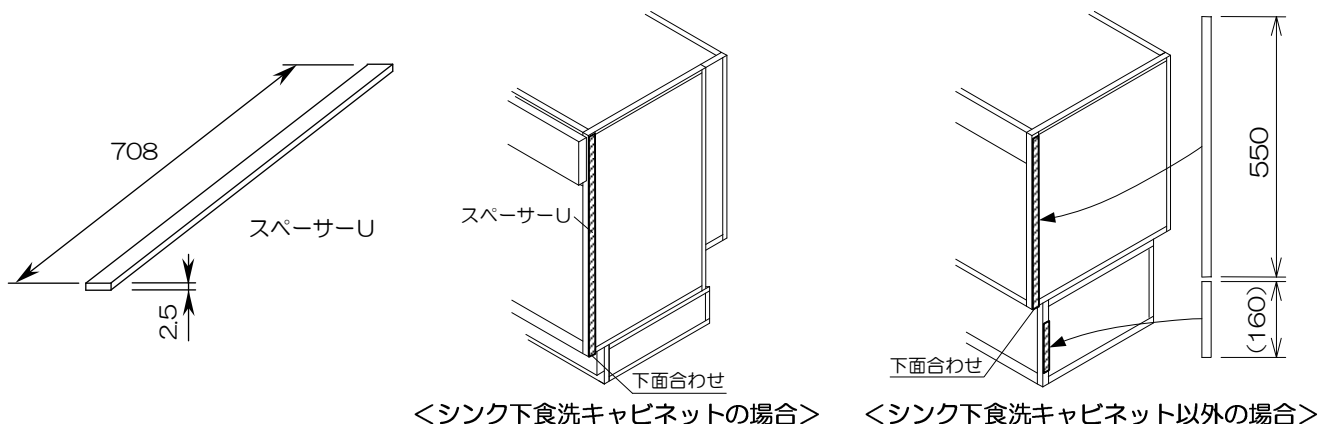
注）後側に貼付ける側板カバーBは半分にカットして、隣接するキャビネットに貼付けてください。



【3. スペーサーU（間口調整用）の貼付】

仮置きしたキャビネット間口（エンドカバー、エンドパネル、フィラーを含む）を測定し、ワークトップ間口との差に合わせてスペーサーU（t2.5mm）をキャビネットに貼付けます。

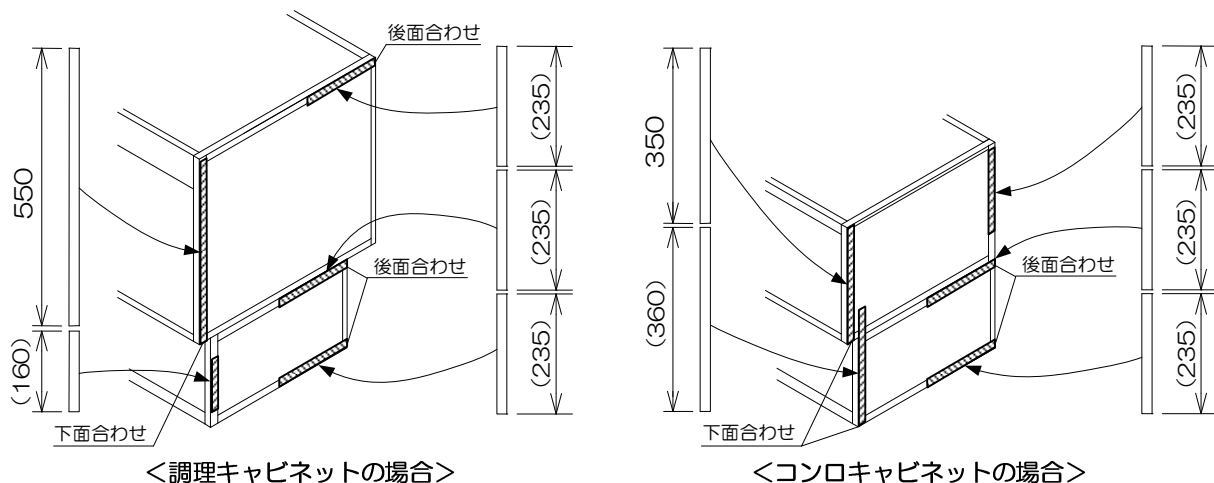
- ① クローズ側のセットエンドの側面に、1枚（前側のみ）貼付けてください。
（シンク下食洗キャビネット以外の場合は、カットして貼付けてください。）



- ② ①でも足りない場合は、2枚をカットしてキャビネット間の側面に貼付けてください。

注) ●食器洗い乾燥機と隣接する箇所には貼付けないでください。

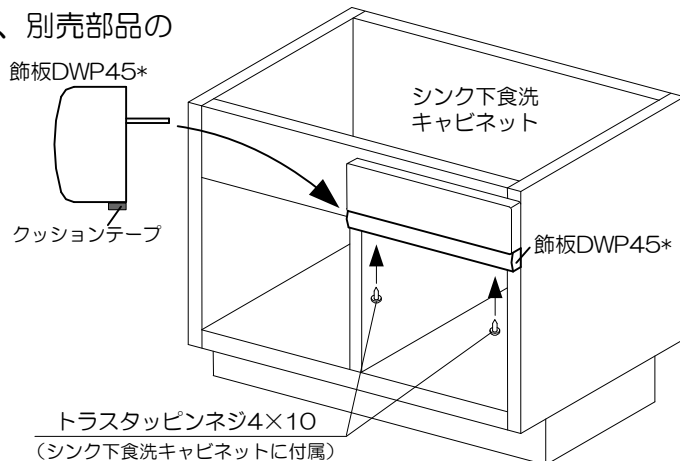
- コンロキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、コンロキャビネット側に貼付けてください。
- シンクキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、他のキャビネット側に貼付けてください。



【4. 飾板DWP45*の取付】（シンク下食洗キャビネット：G-RR~の場合のみ）

シンク下食洗キャビネットに付属のネジで、別売部品の飾板DWP45*を取付けてください。

注) 飾板DWP45*は、食器洗い乾燥機設置後には取付できません。
必ず食器洗い乾燥機設置前に取付けてください。



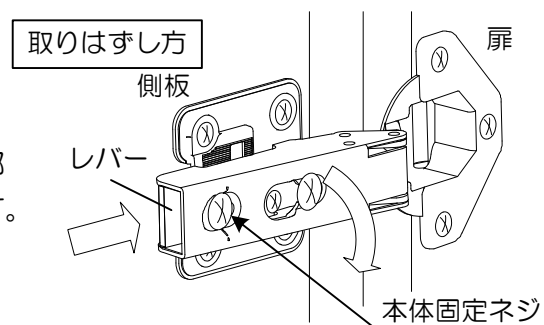
6. ベースキャビネットの設置

【1. 扉・引出・飾板の取りはずし】

<扉>

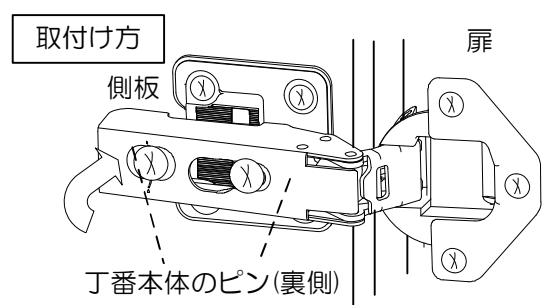
①取りはずし方

丁番プレート後部のレバーを持ち上げながら丁番本体前部を引き上げると、丁番本体が丁番プレートからはずれます。
※扉を全開して上記作業を行うと簡単にはずれます。



②取付け方

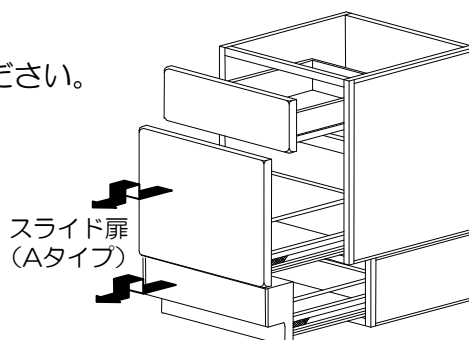
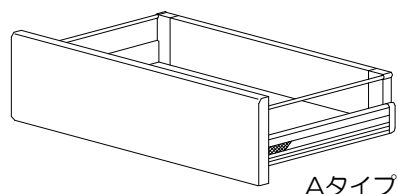
丁番本体前部のピンを丁番プレート前部のツメに引っ掛け、丁番本体を丁番プレートにかぶせるようにしてカチッと音がするまで押し込んでください。



<スライド扉（ソフトクローズタイプの場合）>

◎Aタイプの場合

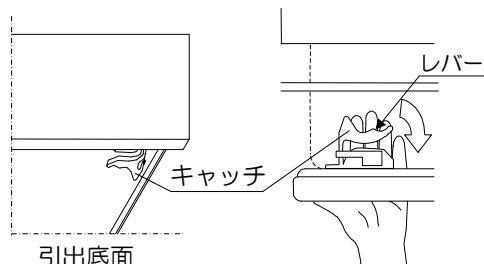
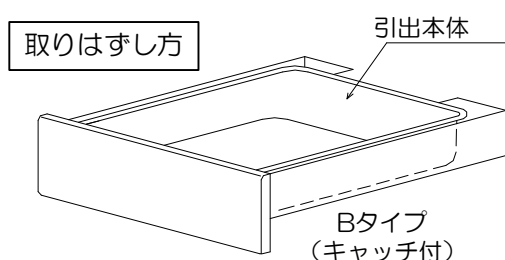
引き出した状態で、少し上に持ち上げて引いてください。



◎Bタイプの場合

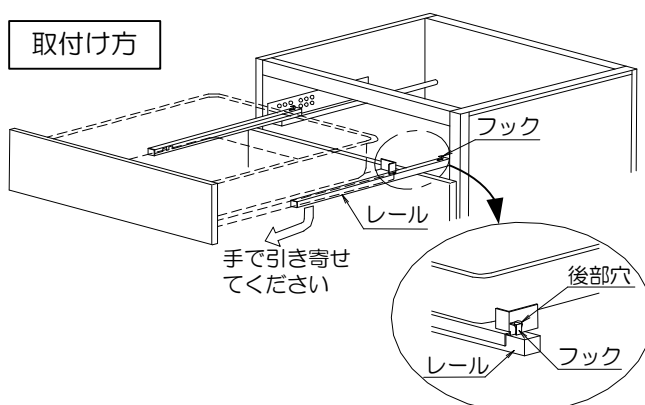
①取りはずし方

引き出した状態で、底板裏面の左右のレバーを握りながら手前に引いて取りはずしてください。



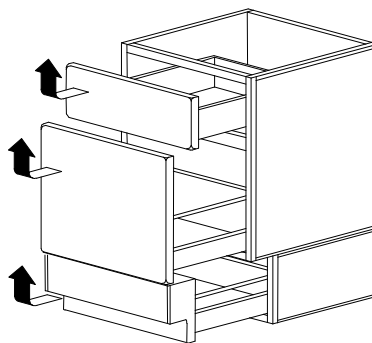
②取付け方

キャビネット側のレールを手前に引き出し、その上に引出をのせて、左右のレールを「カチッ」と音が鳴るまで手で引き寄せてください。このとき、レール側面の穴に左右レバーの爪がしっかり掛かっていることと、レール奥側のフックが引出後部穴に確実に入っていることを確認してから引出を閉めてください。



<スライド扉（ソフトクローズタイプ以外の場合）>

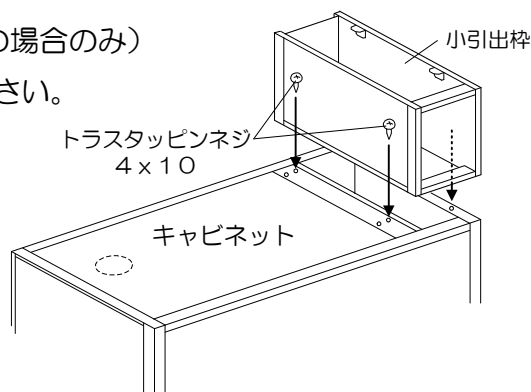
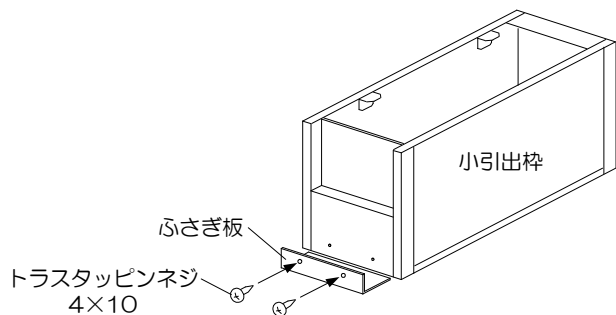
引き出した状態で、持ち上げながら引き抜いてください。



【2. コンロキャビネットの組立】

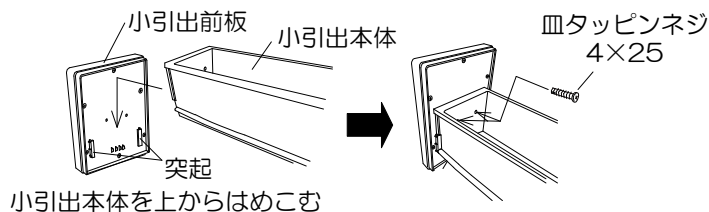
①小引出枠にふさぎ板を取付けてください。（G-KTX～の場合のみ）

②キャビネット上面に小引出枠をネジ4本で取付けてください。



③小引出本体を小引出前板の突起に上からはめ込み、ネジ2本で固定してください。（60間口の場合のみ）

注）ネジを強く締めすぎると、ネジが
きかなくなるおそれがあります。

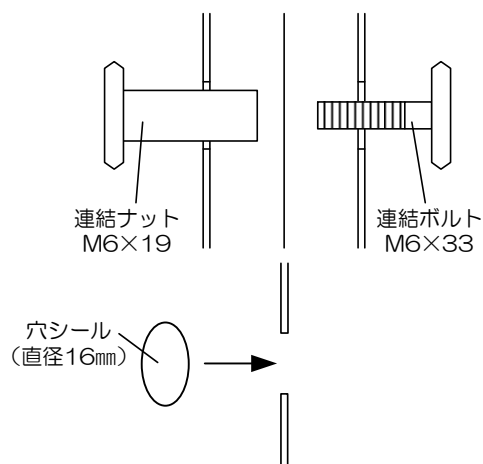


【3. キャビネットの連結】

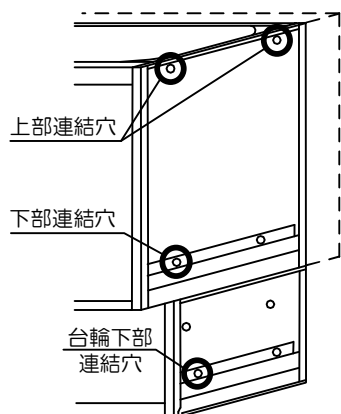
①キャビネットの側板および横台輪の連結穴より、連結ボルト
連結ナットで隣接するキャビネットを連結してください。

②連結後、使用していない下部連結穴には穴シールを貼付けて
ください。

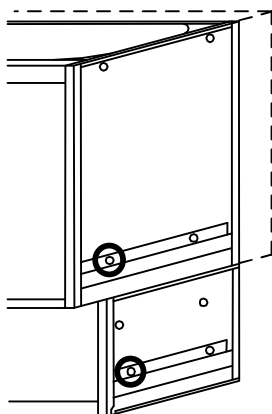
注）台輪部への穴シールの貼付は不要です。



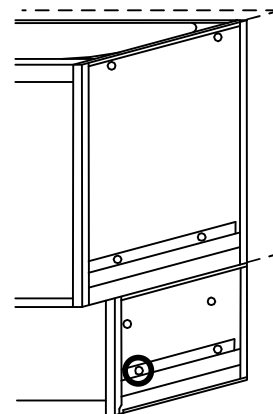
<シンク下食洗キャビネット以外との連結の場合>



〔シンクキャビネットとの連結〕

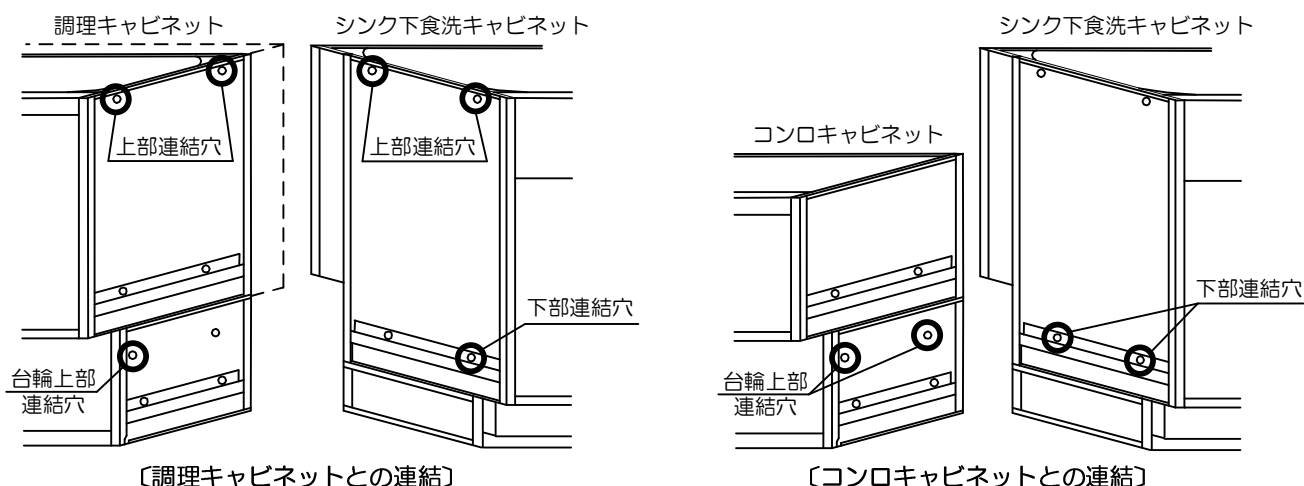


〔コンロキャビネットとの連結〕



〔食器洗い乾燥機キャビネットとの連結〕

＜シンク下食洗キャビネットとの連結の場合＞



- 注) ●下部の連結はキャビネット間にスキ間があかないようにするために行ないます。
連結するキャビネットを密着させた状態で軽く締め付けてください。
強く締め付けすぎるとキャビネットが変形し、引出が脱輪したり引出の開閉が重くなるおそれがあります。
- 電気ドライバーは使用しないでください。
 - 設置完了後に引出の開閉を確認して、重いようであれば下部の連結を緩めて調整してください。

【4. キャビネットの固定】

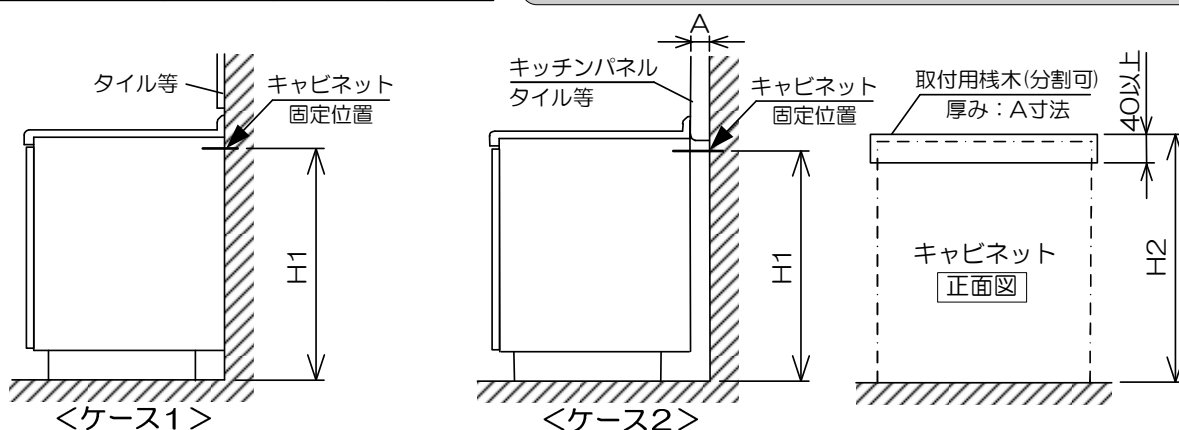
＜奥行565mmキャビネットの場合＞

①取付用栈木の取付（下図ケース2の場合のみ）

キャビネットが設置される奥壁部に取付用栈木（ケース2のA寸法に合わせた木質材：現場手配）を皿ネジ等（頭が出ないもの）で取付けてください。

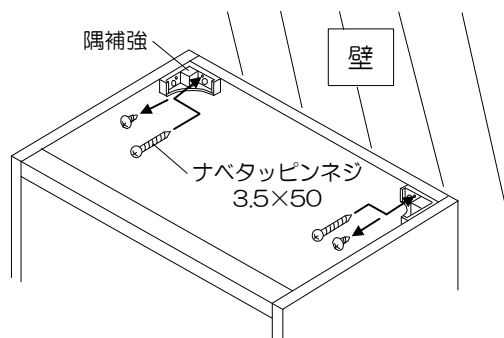
	ワークトップ高さ (mm)		
	900	850	820
H1 (mm)	865	815	786
H2 (mm)	885	835	806

- 注) ●ワークトップ高さによって取付高さが異なります。
●セットの外側にはみ出さないようにしてください。
●取付用栈木のネジ打ちは後壁の栈木のある所に行ってください。



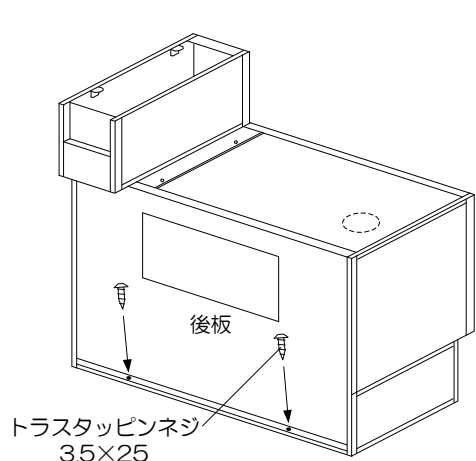
②キャビネット奥側の隅補強を止めているネジ2本をはずして、そのネジ穴から壁面へネジで固定してください。

注) 窓下用キッチンパネルがネジ打ち位置にかぶる場合は、キッチンパネルに穴加工して防錆処理を行ってからネジで固定してください。

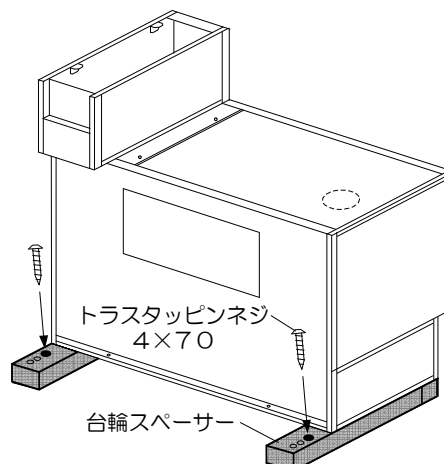


＜奥行473mmのコンロキャビネットの場合＞

キャビネットの後板または台輪スペーサーから床面にネジで固定してください。



〔ワークトップ高さ850・820mmの場合〕



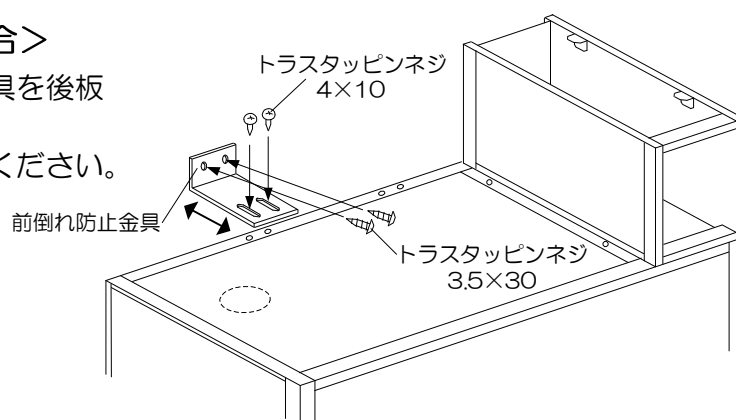
〔ワークトップ高さ900mmの場合〕

＜奥行516mmのコンロキャビネットの場合＞

①壁面までの寸法に合わせて、前倒れ防止金具を後板にネジで取付けてください。

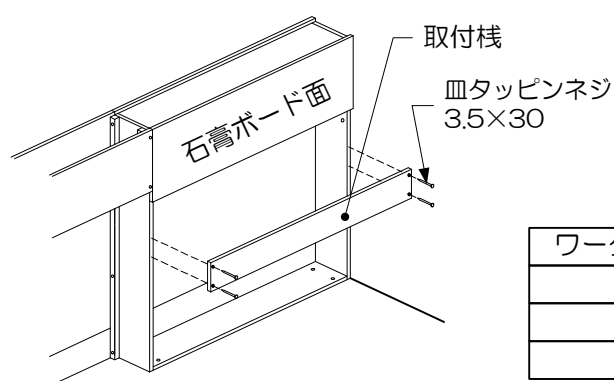
②前倒れ防止金具から壁面にネジで固定してください。

注) 後板には前倒れ防止金具の取付穴が、数ヶ所あいています。IHの電源等と干渉しない位置に前倒れ防止金具を取付けてください。

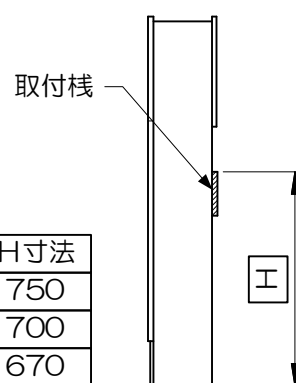


◎スリムカウンター対面の場合

奥行60cmキッチンにスリムカウンター対面を設置する場合、タイメンBOX・タイメンタナへの前倒れ防止用の取付棧の固定高さが、スリムカウンター対面の設置説明書と異なります。固定高さ以外については、スリムカウンター対面の設置説明書を参照して設置してください。

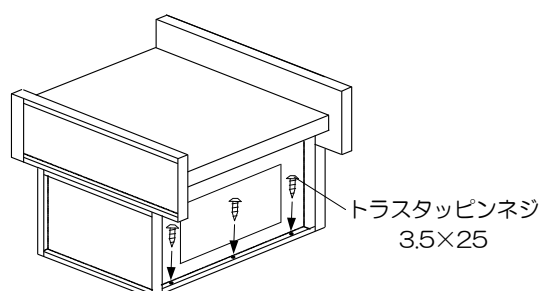


ワークトップ高さ	H寸法
90cm	750
85cm	700
82cm	670

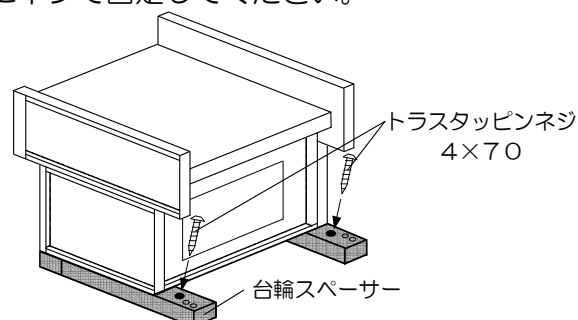


＜食器洗い乾燥機用キャビネットの場合＞

キャビネットの後板または台輪スペーサーから床面にネジで固定してください。



〔ワークトップ高さ850・820mmの場合〕



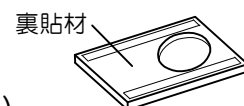
〔ワークトップ高さ900mmの場合〕

7. 水栓の取付

①水栓穴の加工

オプション水栓（アルカリ整水器、浄水器専用水栓）を取付ける場合は、下図にしたがってワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。（●印：穴加工は不要 ○印：現場で穴加工）

標準（食洗無し）の場合 シンク横食洗の場合	シンク下食洗の場合
水栓とオプション水栓は入替可能です。	図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。



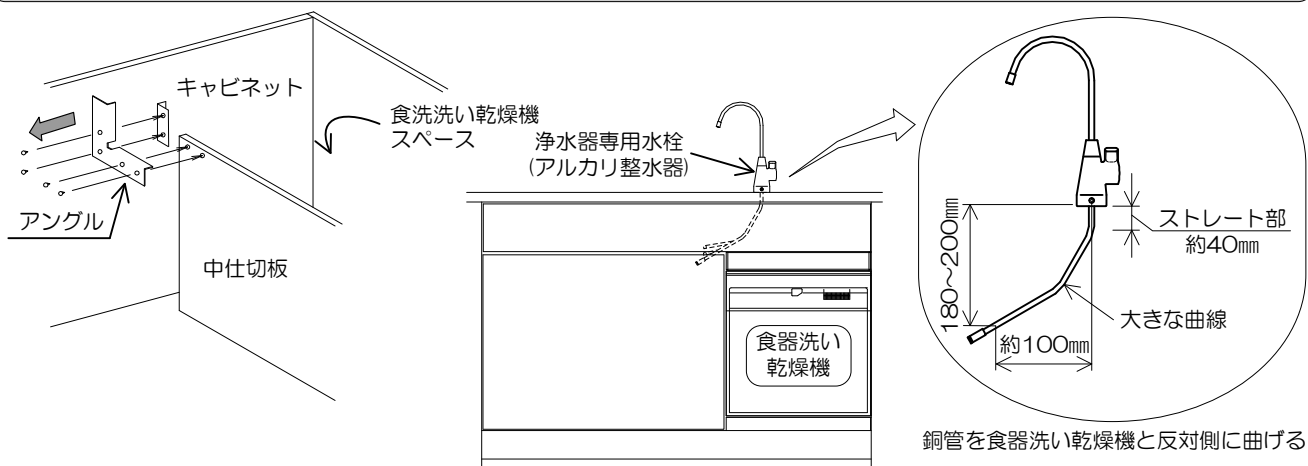
②裏貼材の貼付

加工した穴に合わせて、別売部品の裏貼材をシンクの裏面に貼付けてください。

③水栓およびオプション水栓（アルカリ整水器・浄水器専用水栓）は、それぞれに付属の取付説明書にしたがって取付けてください。

注）シンク下食洗の場合、オプション水栓が食器洗い乾燥機の上にある場合、設置しにくい場合があります。その場合は以下の要領で取付を行ってください。

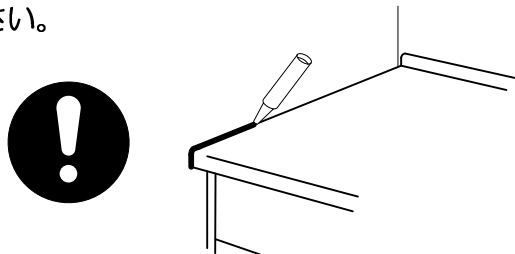
- ①中仕切板の後ろにあるアングルをはずしてください。
- ②水栓の取付をスムーズに行う為、取付前に水栓の銅管を曲げてください。
（※銅管を局部的に曲げないでください。銅管が破損する恐れがあります。）
- ③水栓を取付けてください。
- ④取りはずしたアングルを元に戻してください。



8. ワークトップの設置

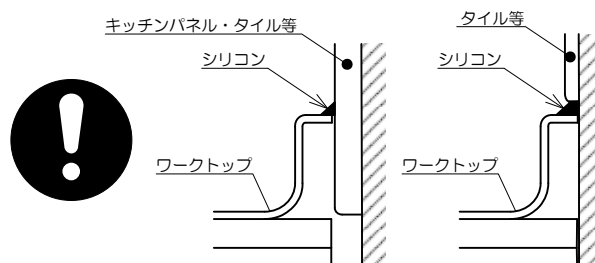
⚠ 作業上の注意事項

人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合
シリコンによる目地を3～4mmとってください。



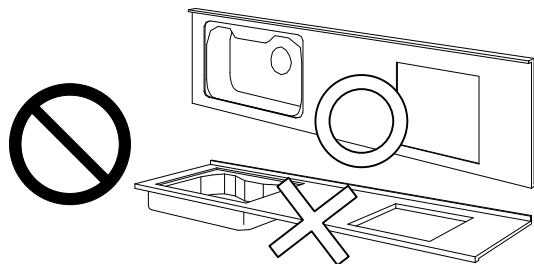
温度変化による伸縮によって、ワークトップ
にそりが発生する恐れがあります。

壁等に接するワークトップ部分は、シリコン
でコーキング処理を行ってください。



水が浸入した場合、腐食や、カビ発生の原因
になる恐れがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした
状態で運ばないでください。



水平にした状態で運んだ場合、ワークトップ
に損傷を与える恐れがあります。

設置中、ワークトップおよびシンクの中など
に乗らないでください。



製品が変形・破損する恐れがあります。

ワークトップ関連の作業を行っていない場合
ダンボール等で養生を行ってください。



壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、
モルタル、鉄くずなどでワークトップおよび
シンクに傷がつく恐れがあります。

シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗浄し
ないでください。



製品が変形・変色する恐れがあります。

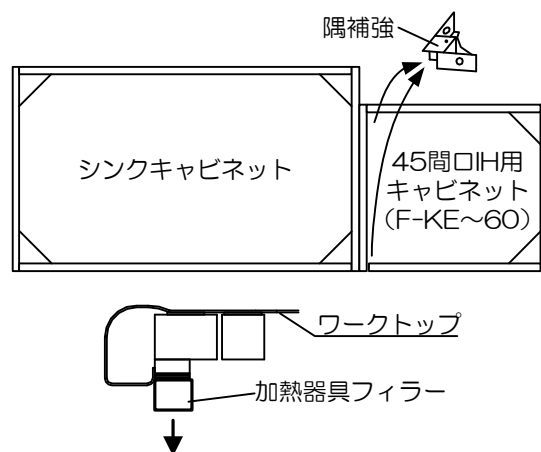
〔ステンレス製ワークトップの場合〕

【1. ワークトップ設置前の準備】

45間口IH用キャビネット（F-KE～60）の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

（注）防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

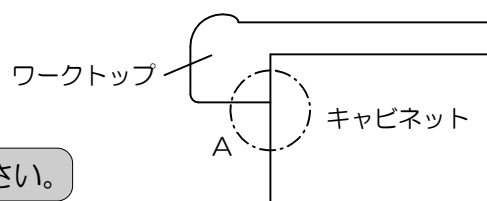
また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。



【2. ワークトップの仮置き】

ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

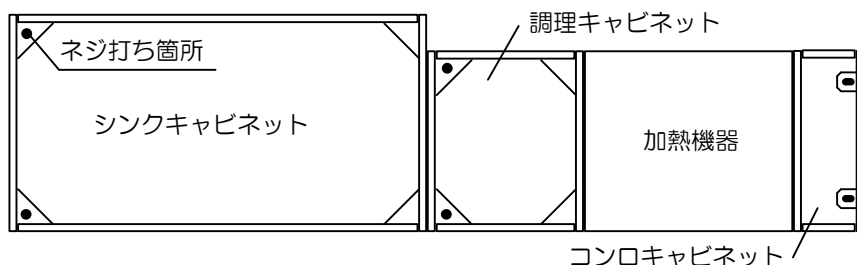
（注）シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。



【3. ワークトップの固定】

①隅補強からの固定

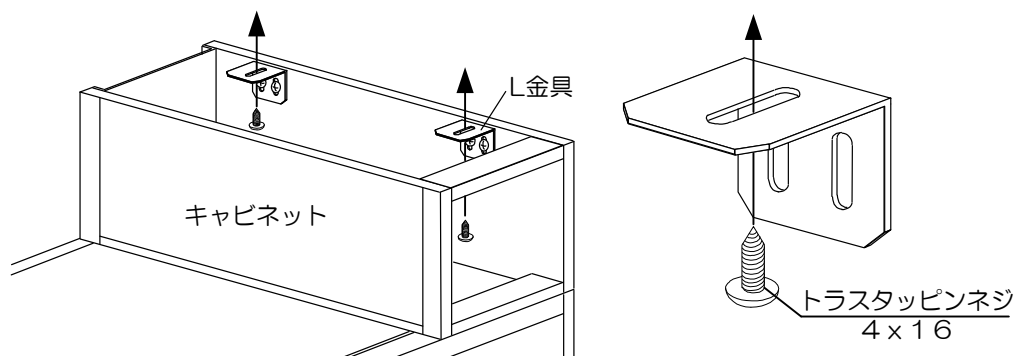
キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。
固定箇所はワークトップの両サイドと中央部です。



②L金具からの固定

＜コンロキャビネットがセットエンドにくる場合＞

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。



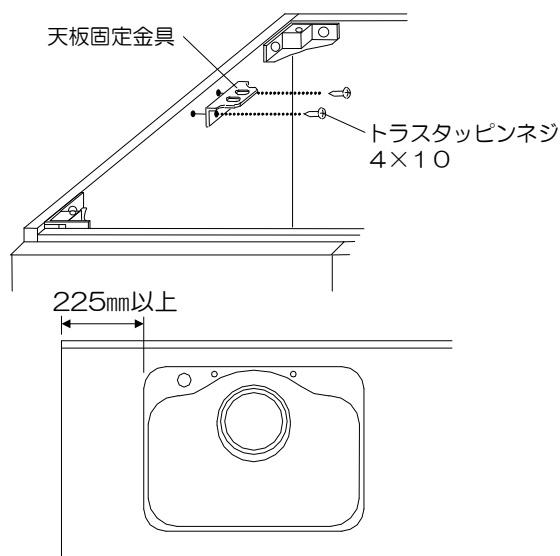
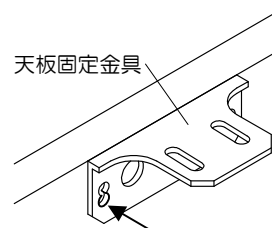
〔人造大理石製ワークトップの場合〕

【1. ワークトップ設置前の準備】

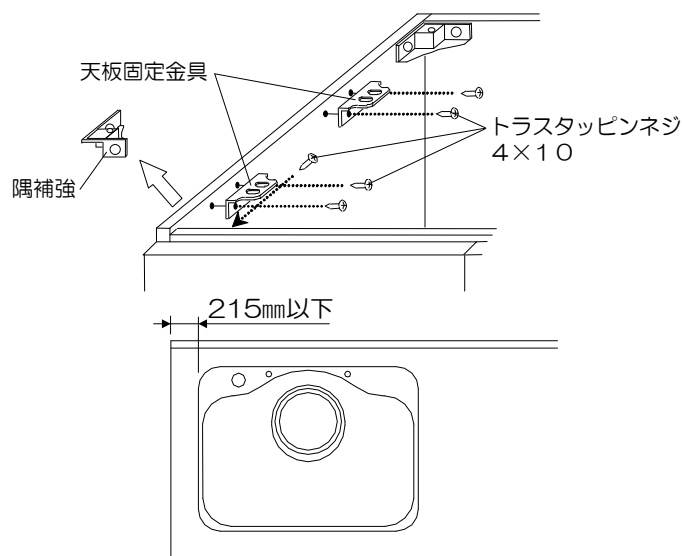
①シンクキャビネットのセットエンド側に、天板固定金具を取付けてください。

シンクがセットエンド側に寄っている場合は、前側の隅補強をはずして天板固定金具に付け替えてください。

注) ●天板固定金具の固定穴は、ダルマ穴になっています。天板固定金具がキャビネット上面と合うように、下側の穴で固定してください。
●隅補強をはずした場合は、防錆のためにはずしたネジは元の位置に取付けてください。



＜シンクがセットエンド側に寄っていない場合＞

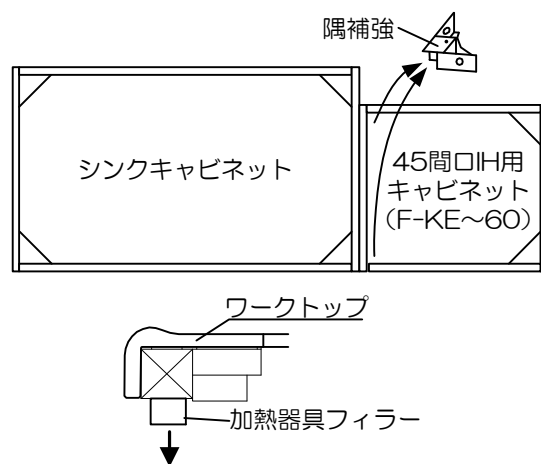


＜シンクがセットエンド側に寄っている場合＞

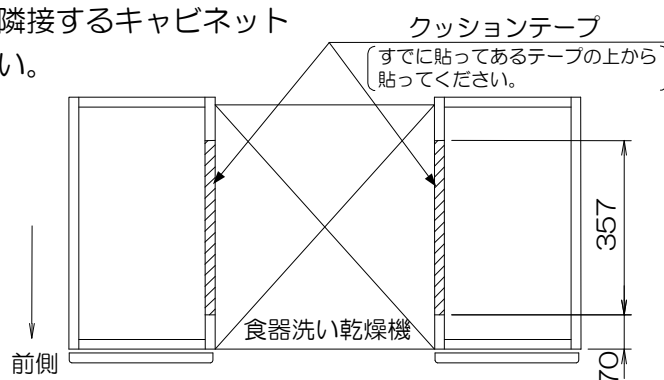
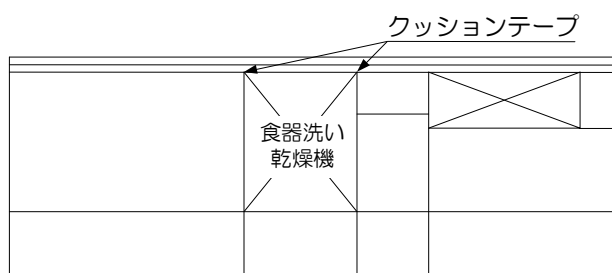
②45間口IH用キャビネット（F-KE～60）の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

注) 防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

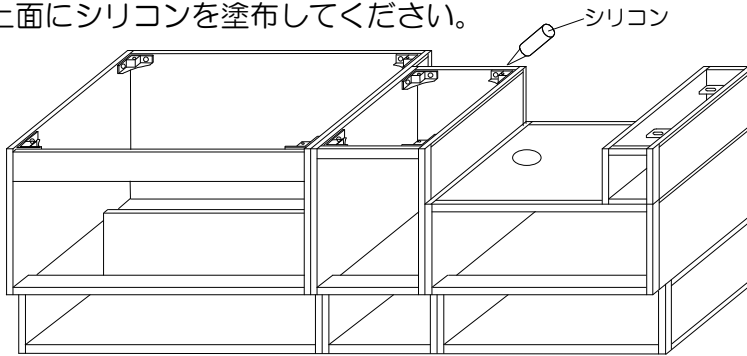
また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。



③食器洗い乾燥機（シンク下食洗タイプは除く）に隣接するキャビネットの側板上面にクッションテープを貼付けてください。



④隅補強の上面にシリコンを塗布してください。

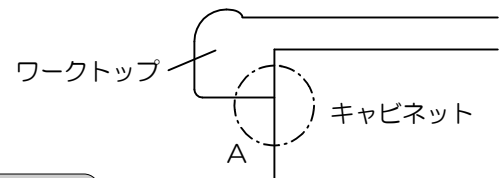


【2. ワークトップの設置】

①ワークトップの仮置き

ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

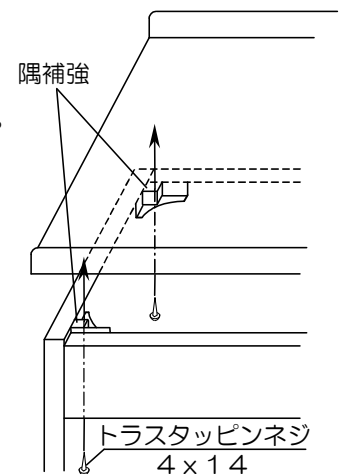
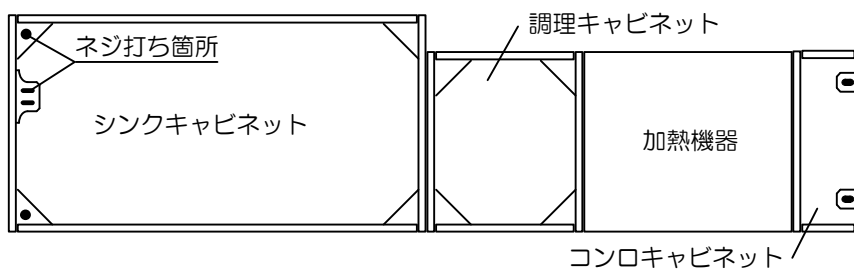
注) シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。



②ワークトップの固定

(1)隅補強からの固定

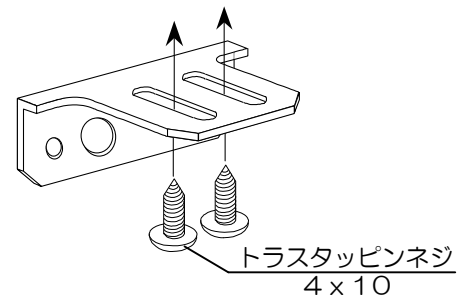
キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。
固定箇所はワークトップの両サイドです。(中央部は不要)



(2)金具からの固定

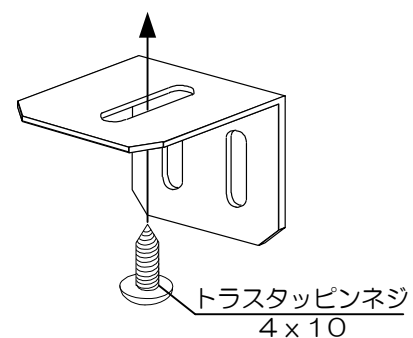
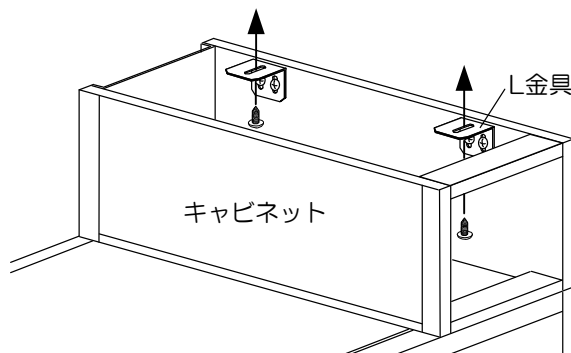
<シンクキャビネットの場合>

取付けた天板固定金具より、ワークトップを固定してください。



<コンロキャビネットの場合>

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。



9. 加熱機器の設置

加熱機器に付属の設置説明書にしたがって設置してください。
 以下の場合、配管・配線用の穴加工を行ってください。

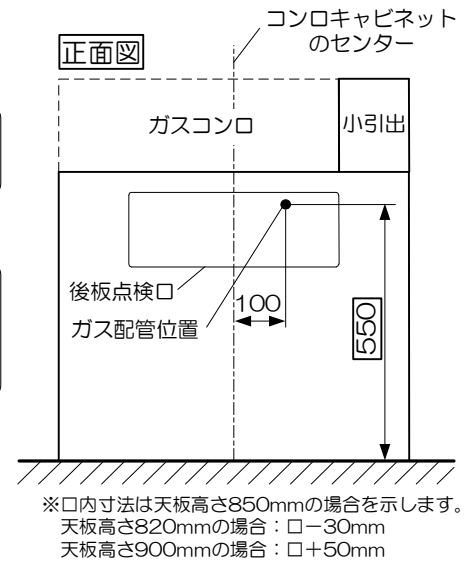
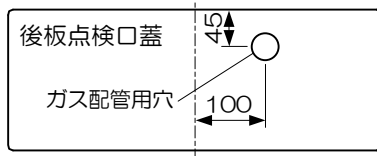
<ガス加熱機器の場合>

①右図を参照して、ガス配管位置を確認してください。

注) ガス配管位置が低過ぎると、引出や収納物に干渉する恐れがあります。低すぎる場合は、配管をやりなおしてください。

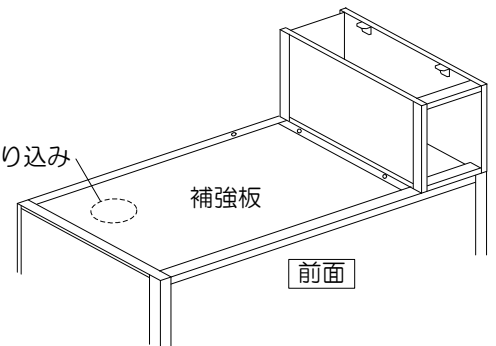
②後板点検口蓋にガス配管が通る大きさの穴を加工してください。

注) 下図の穴位置は、ガス配管が右図の位置にある場合を示しています。ガス配管位置がズれている場合は配管位置に合わせて穴を加工してください。



③後板点検口蓋の穴にガス配管を通し、後板点検口蓋を蓋の突起でキャビネットに取り付けてください。

④切り込みを利用して、補強板に配管穴を加工してください。切り込み

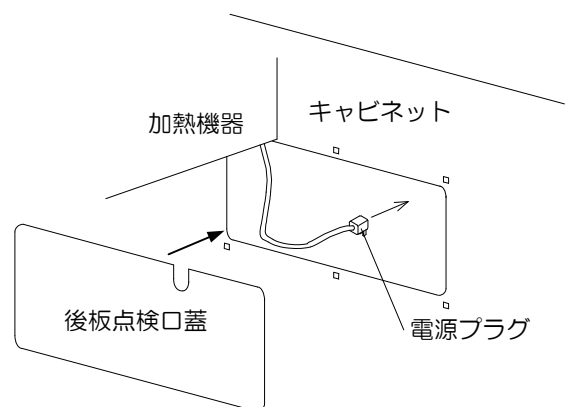
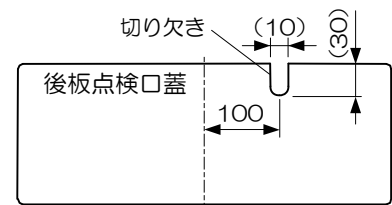


<45間口の電気加熱機器の場合>

①後板点検口蓋に電源コード用の切り欠きを加工してください。

②後板点検口から電源プラグをコンセントに接続してください。

③後板点検口蓋をキャビネットに取り付けてください。

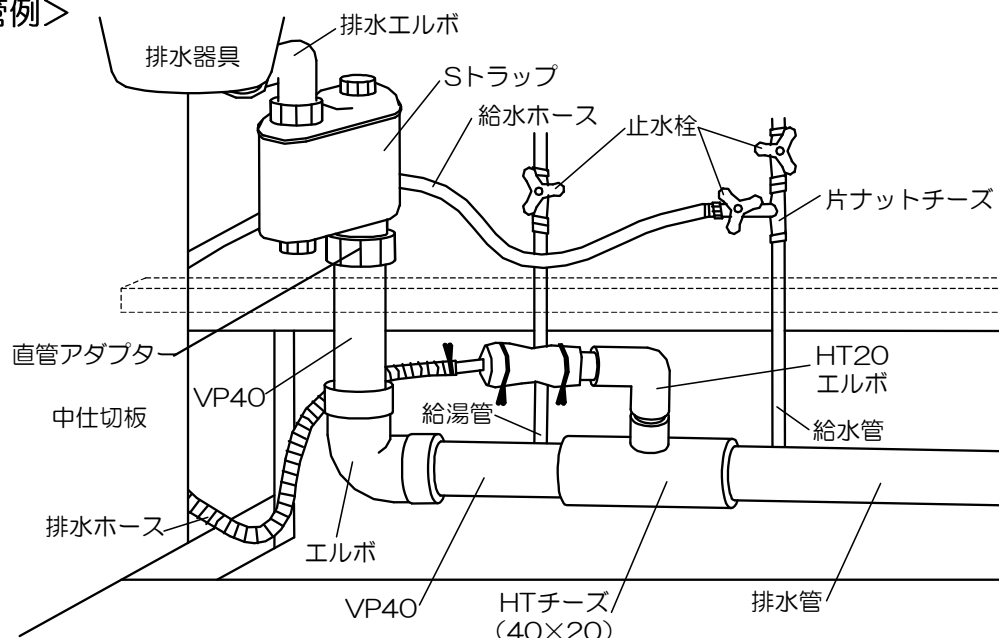


10. 食器洗い乾燥機の設置

食器洗い乾燥機に付属の設置説明書にしたがって設置してください。

注) マンションリフォーム等で横引き配管の場合は、シンクからの排水管より分岐しますので、食器洗い乾燥機専用の排水管は不要です。

<配管例>



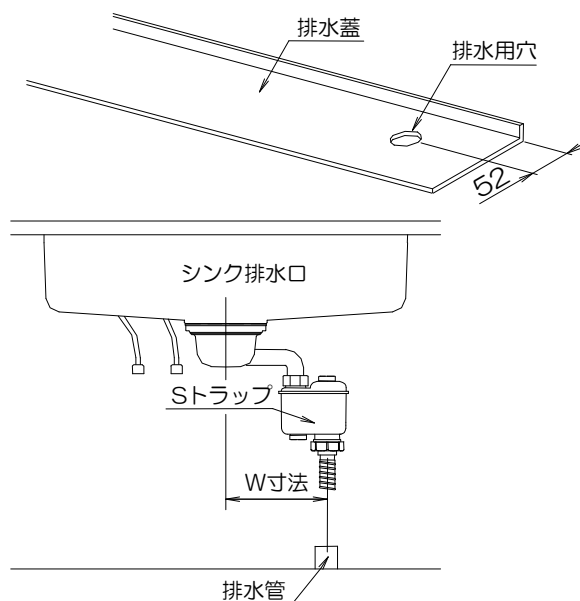
11. 排水蓋・点検口蓋の穴加工

【1. 排水用穴の加工】

排水蓋に排水用の穴を加工してください。

- ・ 穴径 排水パイプで接続する場合：φ38程度
直管で接続する場合：φ50～φ60
- ・ 奥行位置：後側より52mm
- ・ 間口位置・シンク排水口からWmm

キャビネット	向き	W寸法
G-MX・MM～	水栓と反対側	130
G-RR～	食洗と反対側	20

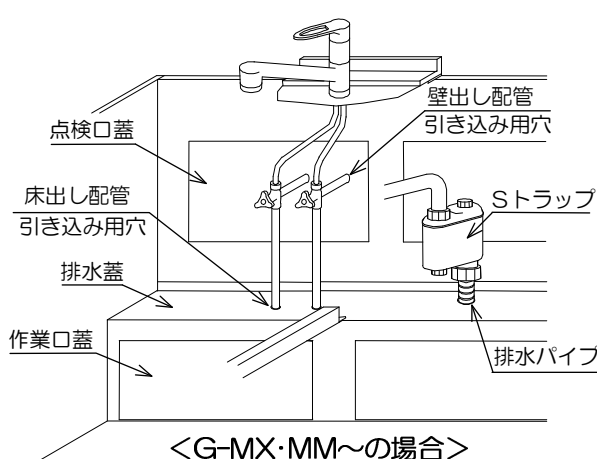


注) 排水管の位置が上表と大きくズれている場合は、排水管を正しい位置に移動してください。移動できない場合は以下の項目に注意して、排水管の位置に合わせて穴を加工してください。

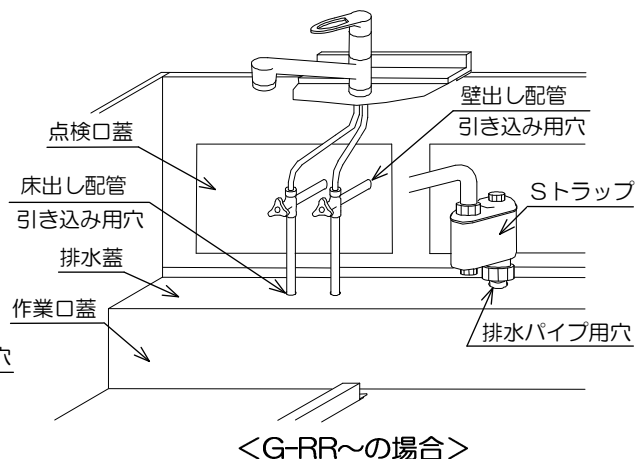
- ・ 引出や収納物と干渉しないように、Sトラップを配置できるかどうか。
- ・ オプション水栓を設置する場合、カートリッジ等の設置スペースが確保できるかどうか。

【2. 給水・給湯管引き込み用穴の加工】

- ①排水蓋または後板の点検口蓋に、給水・給湯管引き込み用の穴を加工してください。
- ②排水蓋をラッチで取付けてください。



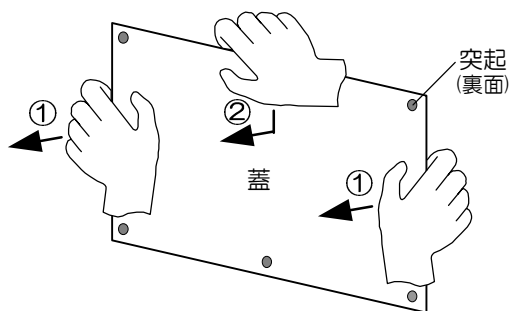
<G-MX・MM~の場合>



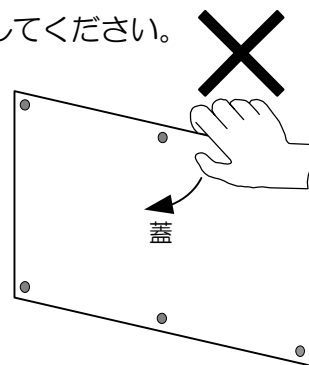
<G-RR~の場合>

点検口蓋・作業口蓋が蓋の突起でキャビネットに取付けられている場合は、以下の要領ではずしてください。

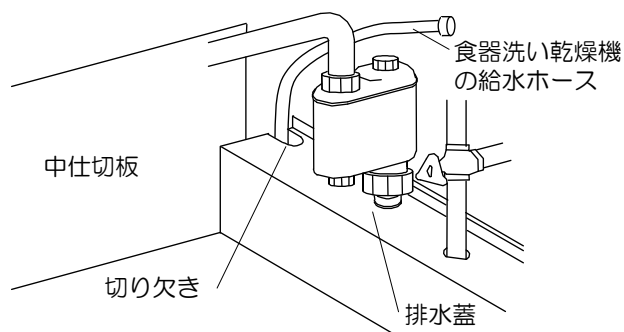
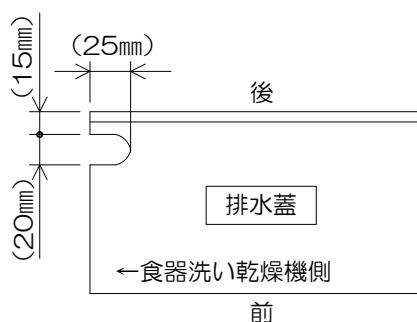
- ①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。
- ②上辺の中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いてはずしてください。



注) 右図のように指示と異なる部分を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。



- ③シンク下食洗キャビネットの場合は、排水蓋に給水ホース用の切り欠きを加工し、切り欠きを通して給水ホースを庫内に引き込んでください。

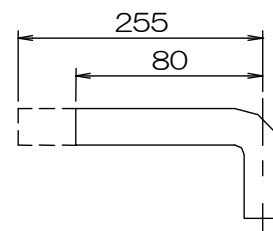


12. 排水部品の取付

【1. 排水エルボの切断】

排水エルボを所定の長さに切断してください。

注) 排水管の位置が標準配管と異なり、その排水管の位置に合わせて排水蓋に穴を加工した場合、排水エルボの切断は現場合わせで行ってください。

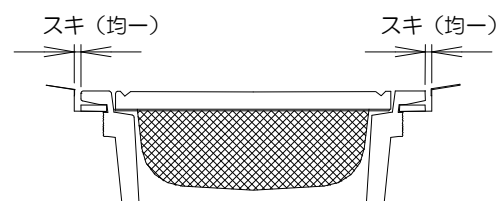


【2. 排水器具・排水エルボ・Sトラップの取付・排水パイプの取付】

①取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注) ●トラップ取付部に異物が残っていると水漏れの恐れがあります。

●トラップ取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。



②排水器具にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注) 排水器具の溝部にパッキンがきっちり納まっているか確認してください。(A部詳細)

③排水器具をロックナットで仮固定してください。

④排水エルボに袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注) 差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(B部詳細)

⑤排水エルボとSトラップを接続してください。

⑥排水パイプを排水蓋の穴に通してください。

⑦排水器具に排水エルボを接続し、Sトラップが排水蓋の穴の位置にくるように排水器具・Sトラップの向きを調節してください。

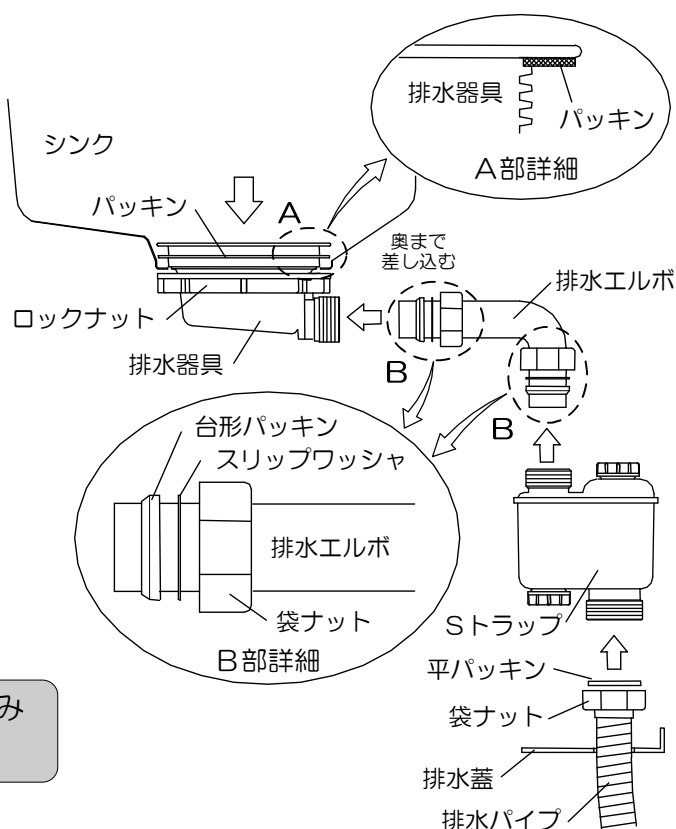
注) 排水エルボは排水器具の奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかり締め付けてください。

⑧ロックナットを締め付けてください。

⑨Sトラップに排水パイプを取付けてください。

注) ●排水パイプの平パッキンをそのまま使用してください。

●接続完了後、排水器具のロックナットと接続部の袋ナットを再度締め付けてください。



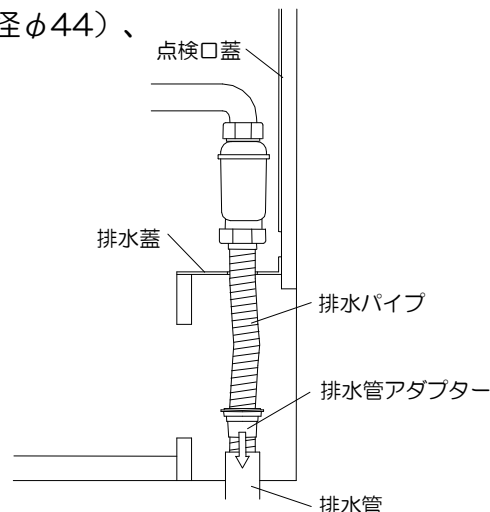
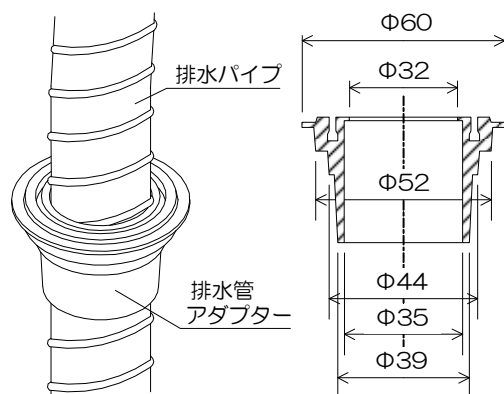
13. 排水管の接続

排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

＜排水パイプで配管する場合＞

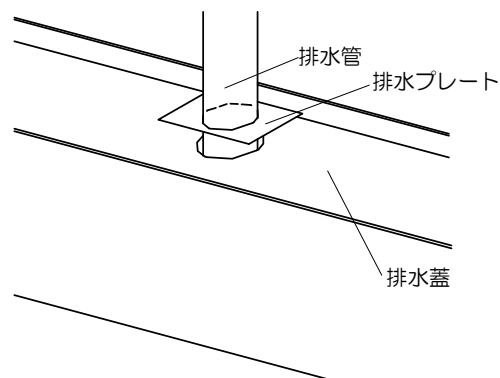
- ①排水管アダプターを排水パイプに挿入してください。
- ②排水管アダプターを排水管に差込み、隙間のないように完全にシールしてください。

排水管アダプターはVP-40（内径φ40）、VU-40（内径φ44）、VP-50（内径φ51）の排水管に接続できます。



＜直管で接続する場合＞

ストラップより先は現場手配の部品で接続してください。
排水管に排水プレートを通して、排水蓋に貼付けてください。

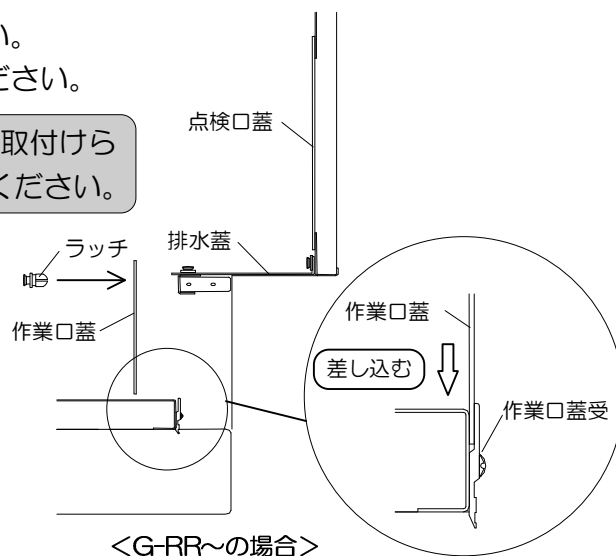


14. 給水・給湯管と水栓の接続

- 接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
- 接続工事は水栓の取付説明書にしたがって行ってください。

注）点検口蓋・作業口蓋が蓋の突起でキャビネットに取付けられている場合は、21ページを参照してはしてください。

- 全ての接続工事が終わったら、排水蓋・点検口蓋・作業口蓋を取付けてください。
- シンク下食洗キャビネット（G-RR～）の作業口蓋は下部を作業口蓋受に差し込んで、上部をラッチで取付けてください。



＜G-RR～の場合＞

注）接続作業が別途工事になる場合は、排水蓋・点検口蓋・作業口蓋および取付ラッチを作業者がわかる位置に保管しておいてください。
（取付が可能な場合は、極力取付けた状態で作業を終わるようにしてください。）

15. エンドパネルの取付

＜奥行60cmフロアキャビネット以外の場合＞

シンクキャビネットに付属のエンドパネル設置説明書にしたがって行ってください。

＜奥行60cmフロアキャビネットの場合＞

①EPモールにEPキャップDをはめ込んでください。

注) EPキャップDにはL/Rがあります。EPモールの断面に合う向きにはめ込んでください。

②EPモールの突起がパネル表面にくるようにあてがい、EPキャップDをネジで固定してください。

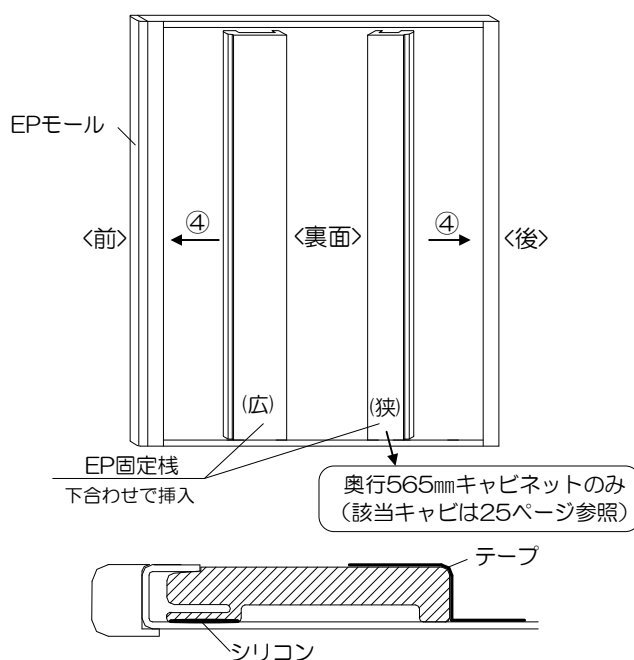
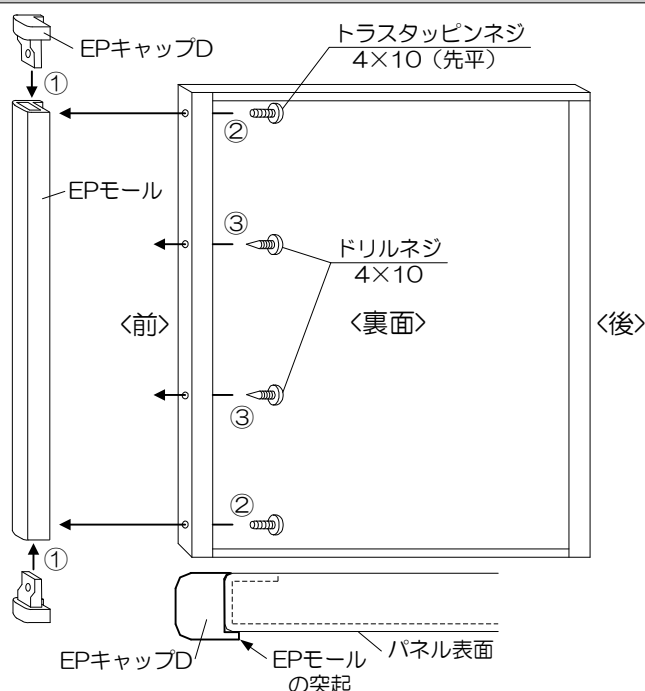
③EPモールの中央部をドリルネジで固定してください。

④EP固定棧をパネルの前後に下合わせで挿入してください。

注) ●EP固定棧は、幅の広いほうを前側に挿入してください。

●後側のEP固定棧は、奥行566mmキャビネットの場合のみ挿入してください。

●勘合が甘くてガタつく場合は、シリコンまたはテープで固定してください。

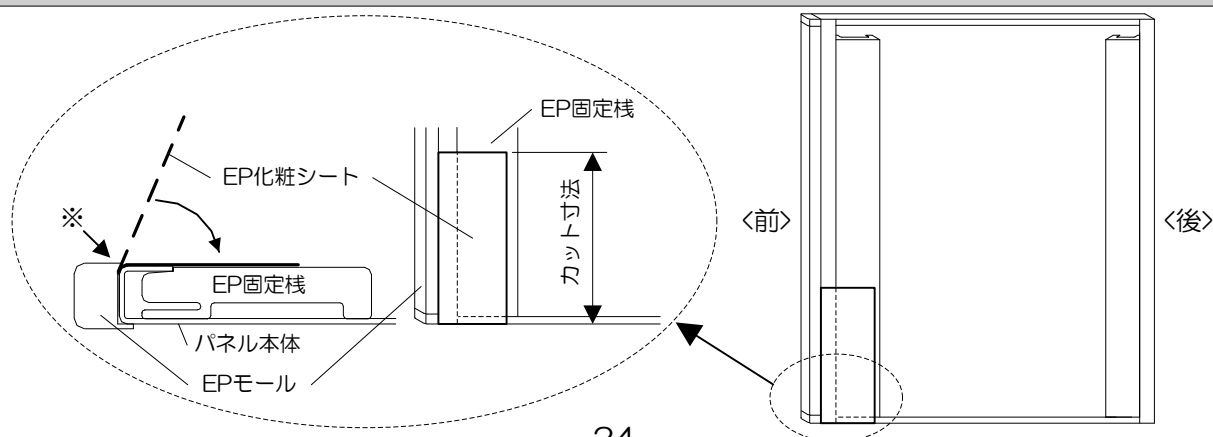


⑤下表を参照してEP化粧シートの長さをカットし
パネル前側の下部に貼付けてください。

エンドパネルを取付ける キャビネットの種類	カット寸法		
	H820	H850	H900
シンク下食洗キャビネット (G-RR～)	88	118	168
シンク下食洗キャビネット (G-RR～) 以外	245	275	325

注) ●パネルは上下対称です。パネルをキャビネットの左右どちらに取付けるかを確認してから化粧シート貼付けてください。

●EP化粧シートはパネル本体とEPモールの間に差し込み、パネル本体の角部(※)を覆うように貼付けてください。



⑥キャビネットの固定箇所、穴に合わせて、EPスペーサーを貼付けてください。

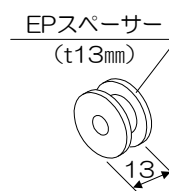
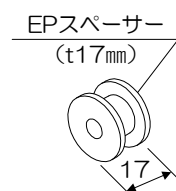
注) ●固定位置はレールの種類によって異なります。

●EPスペーサーは「t17mm」と「t13mm」の2種類あります。

固定箇所に合わせて貼付けてください。

・側板厚み20mm : t17mm

・側板厚み15mm : t13mm (下図の※印の固定箇所)

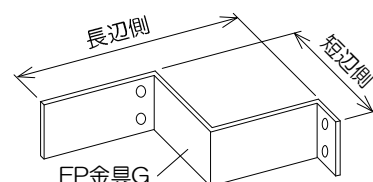


⑦奥行565mm以外のキャビネットの場合は、EP金具Gをキャビネットの後板にネジが軽にかかる程度に仮固定してください。(上下2ヶ所)

注) ●EP金具Gは2方向に取付が可能です。取付方向に注意してください。

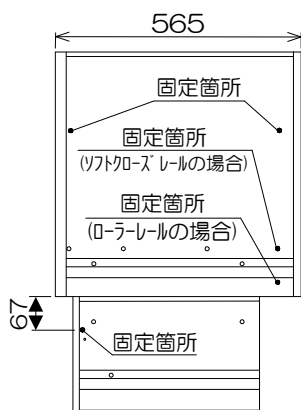
●奥行565mm以外のキャビネットにエンドパネルを取付ける場合は、別途「EP-XGNカナグセット」が必要です。

EP金具G等はカナグセットに同梱されています。

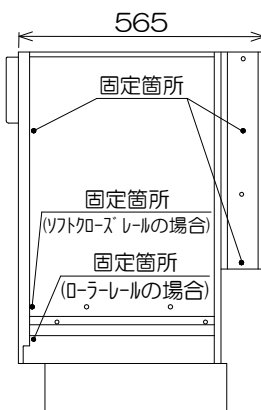


奥行565mmキャビネット

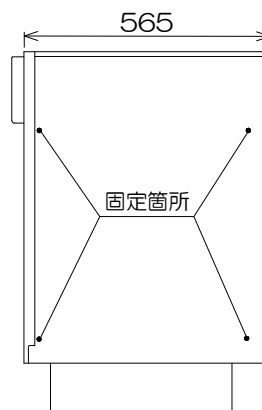
<G-M・TDX・KEX~>



<G-RR~ (引出側) >

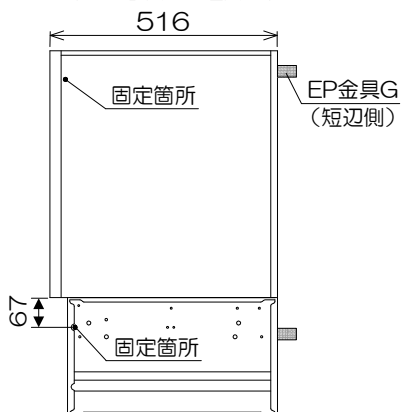


<G-RR~ (食洗側) >

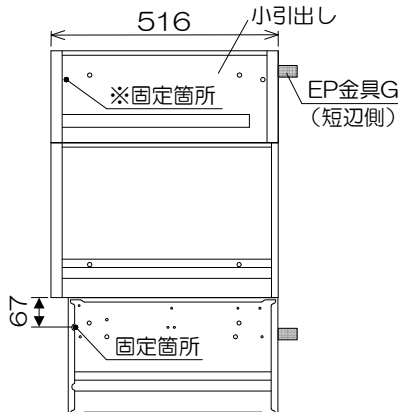


奥行516mmキャビネット

<F-TDX・KEX~>

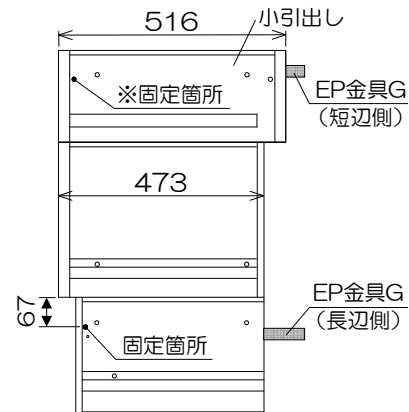


<F-KTX~>



奥行473mmキャビネット

<G-KTX~>



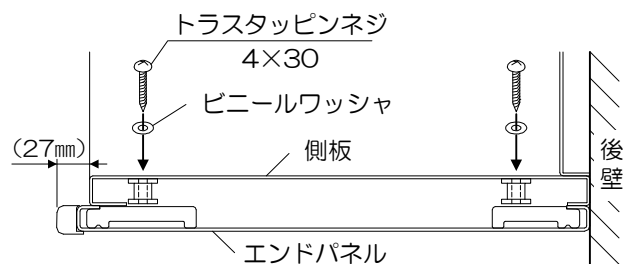
⑧以下を参照してエンドパネルをキャビネットに取り付けてください。

＜奥行565mmのキャビネットの場合＞

エンドパネルを奥壁に押しつけながら、ネジで固定してください。

（エンドパネルの出代は27mm）

注）固定ネジは30mmと25mmの2種類あります。
25mmを使用すると固定が不十分になります
ので、必ず30mmを使用してください。

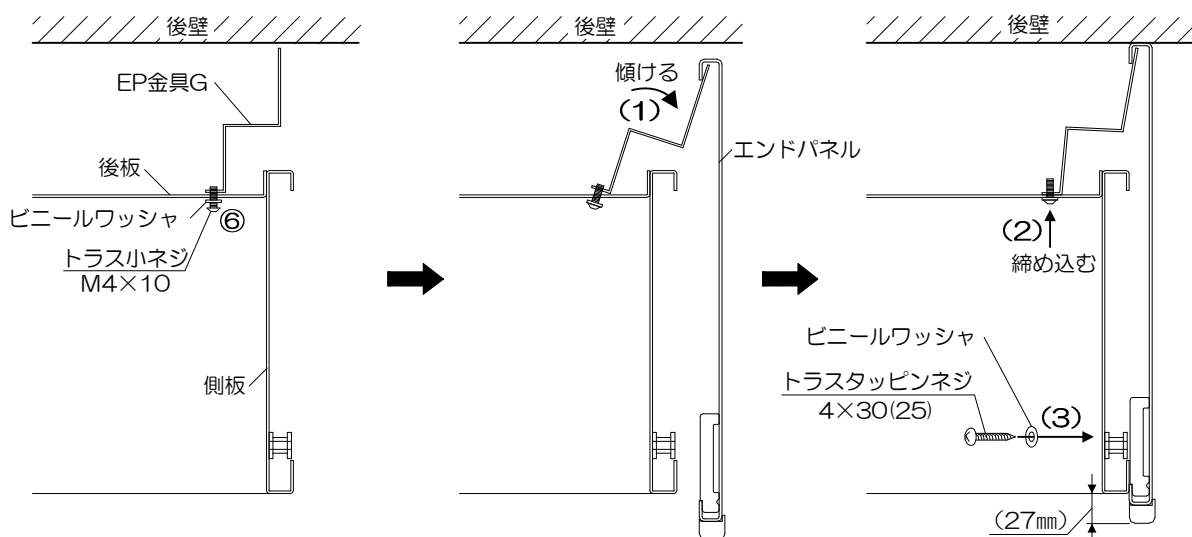


＜奥行565mm以外のキャビネットの場合＞

- (1) EP金具Gを傾けてエンドパネル後部に引掛けてください。
- (2) EP金具Gがはずれないように注意しながら、EP金具Gの固定ネジを完全に締め込んでください。
- (3) エンドパネルを後壁に押しけながら、ネジで固定してください。（エンドパネルの出代は27mm）

注）固定ネジは30mmと25mmの2種類あります。固定箇所に合わせて使用してください。

- ・側板厚み20mm : トラスタッピンネジ4×30+ビニールワッシャ
- ・側板厚み15mm : トラスタッピンネジ4×25+ビニールワッシャ



16. その他部品の取付

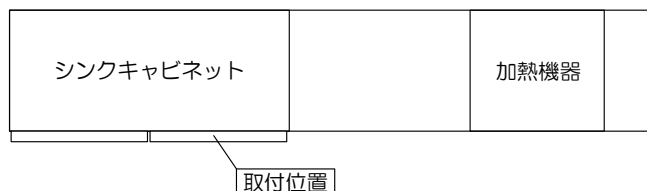
【1. 包丁差】

注) 包丁差を取付けるときはネジのゆるみや浮きのないように、正しく取付けてください。
取付方法を誤ると、使用中に包丁差がはずれてけがをする恐れがあります。

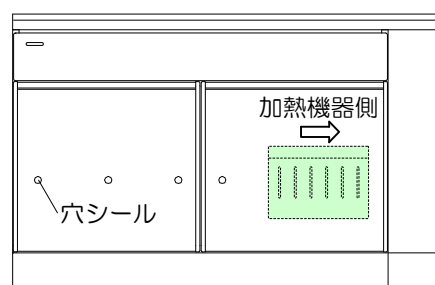
①取付位置の確認

取付位置はシンクキャビネットの中で、加熱機器に一番近い45間口以上のスライド扉です。

例)



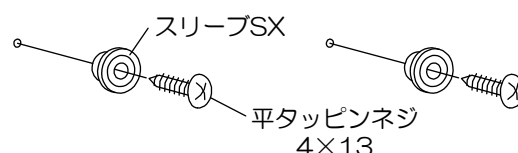
注) 90・75・60間口のスライド扉には、包丁差取付用の穴が3～4箇所あいています。加熱機器側の2箇所を使用して取付けてください。



②スリーブSXの取付

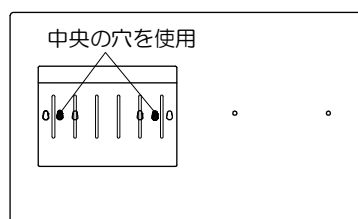
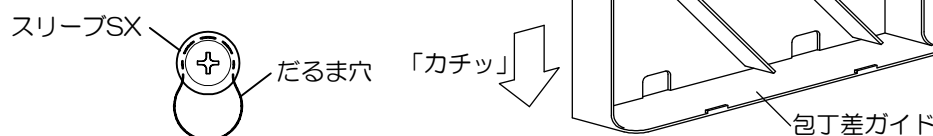
スリーブSXを扉裏板にネジで取付けてください。

注) 電気ドライバーは使わないで手締めしてください。スリーブSXが破損する恐れがあります。

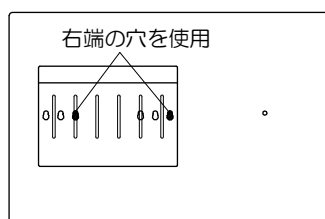


③包丁差ガイドの取付

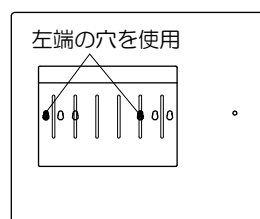
包丁差ガイドのダルマ穴にスリーブSXを差し込んで、「カチッ」と音が鳴るまで降ろして取付けてください。
取付けに使用する穴は、下図を参照してください。



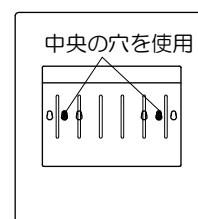
90間口



75間口



60間口



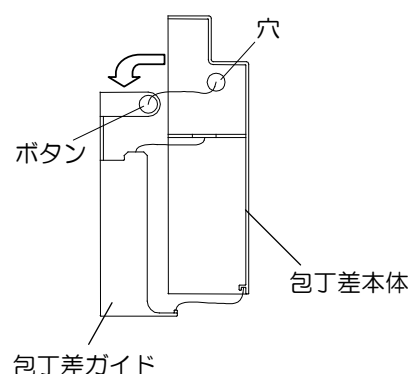
45間口

④包丁差本体の取付

包丁差ガイドのボタンを押しながら包丁差本体を差し込み、本体の穴とボタンが合う位置に取付けてください。

⑤穴キャップの取付

包丁差の取付に使用しない扉裏板の取付穴には、穴シール（直径12mm）を貼付けてください。

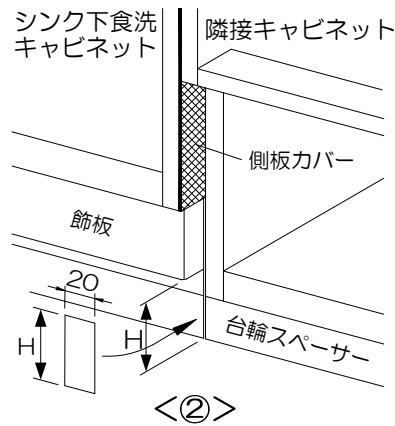
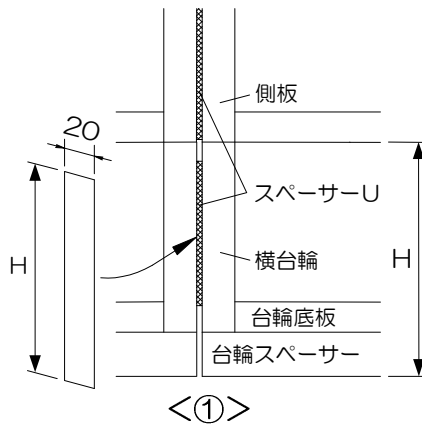


【2. 台輪テープ】

以下の部分には台輪テープをH寸法にカットして、キャビネット間の継ぎ目をふさぐように貼付けてください。

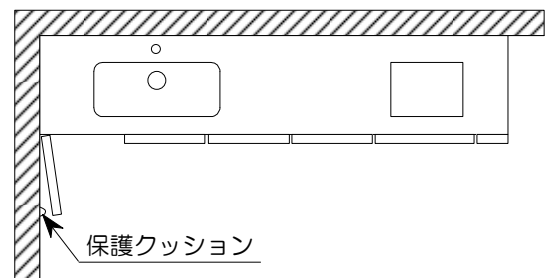
①スパーサーUを貼付けたキャビネット間

②シンク下食洗キャビネットと隣接するキャビネットの間（側板カバーを貼付けた部分）



【3. 保護クッション】

扉および引手が隣接する壁等に当たる場合は、保護クッションを当たる部分に貼付けてください。



17. 扉の調整

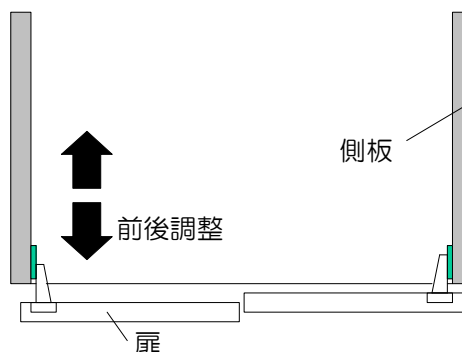
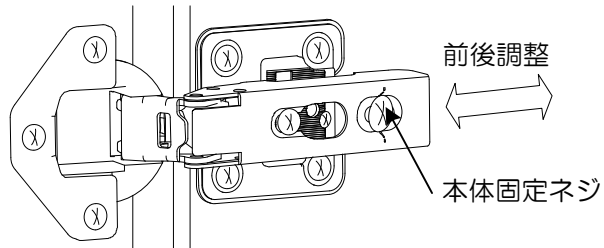
扉の傾き、段違いが発生した場合は、次の手順で調整してください。

【1. 開き扉】

○扉の前後調整

本体固定ネジを緩め、丁番を移動させて前後調整してください。

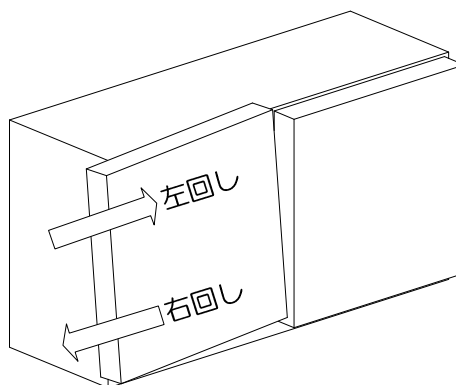
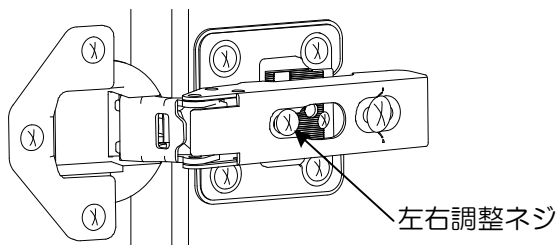
調整後は必ず本体固定ネジを締め直してください。



○扉の左右調整

左右調整ネジを回して左右調整してください。

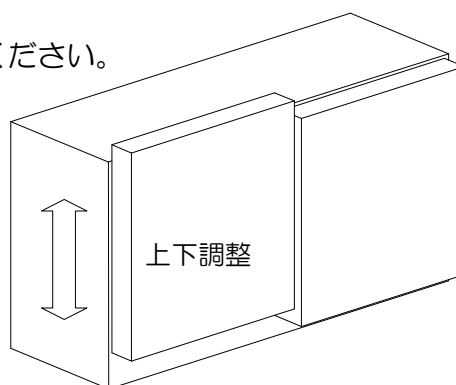
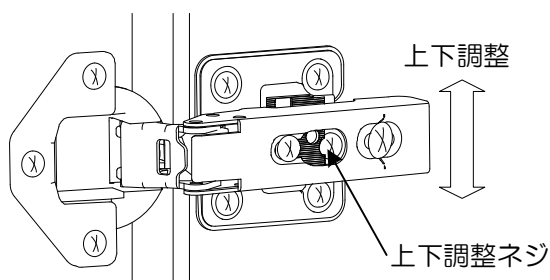
調整後、本体固定ネジが緩む場合があるので、必ず本体固定ネジを締め直してください。



○扉の上下調整

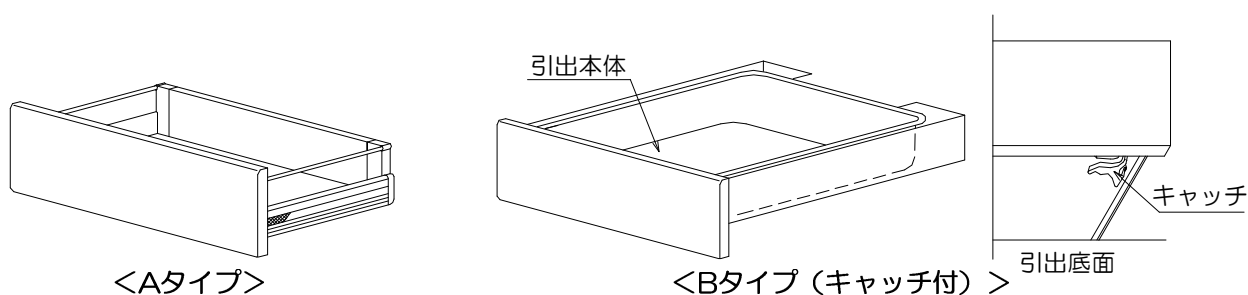
上下調整ネジを緩め、丁番を移動させて上下調整してください。

調整後は必ず上下調整ネジを締め直してください。



【2. スライド扉（ソフトクローズタイプの場合）】

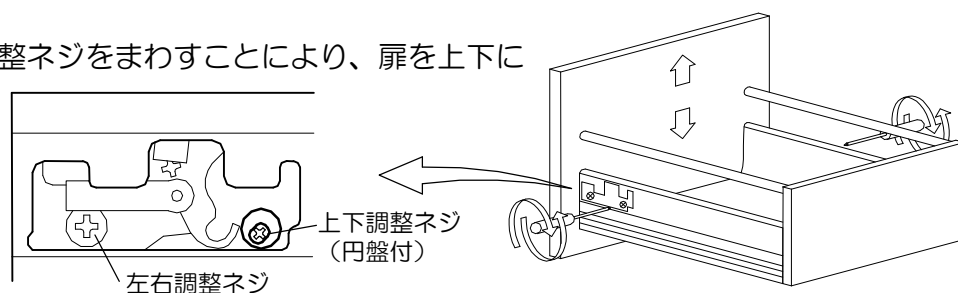
スライド扉（ソフトクローズタイプ）はAタイプ・Bタイプの2タイプあります。



<Aタイプの場合>

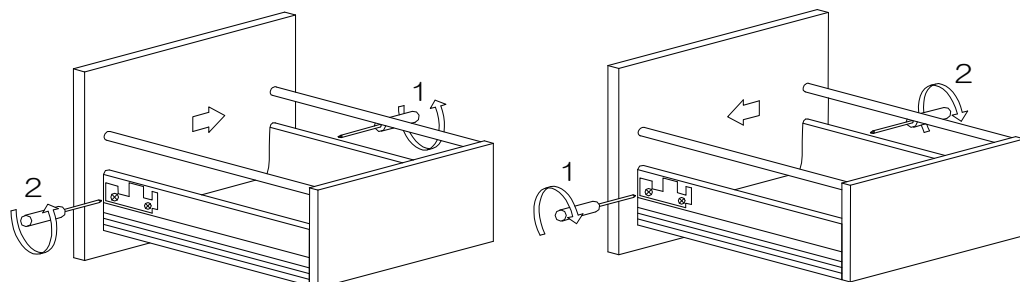
○上下調整

図のように上下調整ネジをまわすことにより、扉を上下に調整できます。



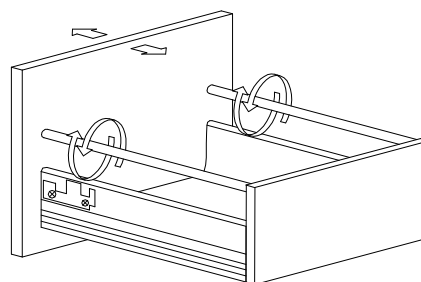
○左右調整

図の手順にしたがって左右調整ネジをまわすことにより、扉を左右に調整できます。



○傾き調整

図のように両サイドのバーをまわすことにより、扉の傾きを調整できます。

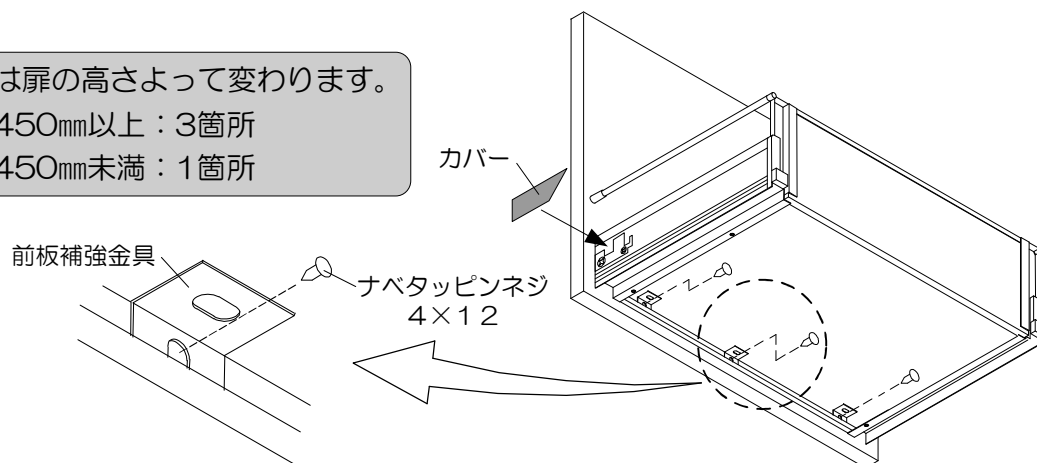


○仕上げ

各調整終了後、調整ネジ部にカバーを取付け、引出裏面より前板固定金具を用いてネジで固定してください。

注) 固定箇所は扉の高さによって変わります。

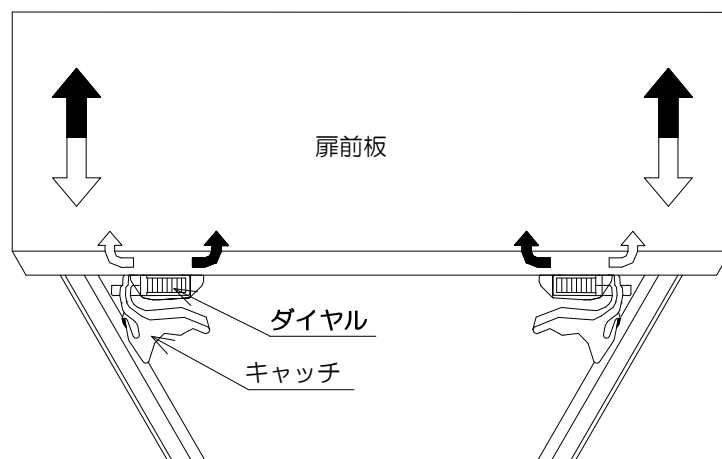
- ・扉高さ450mm以上：3箇所
- ・扉高さ450mm未満：1箇所



<Bタイプの場合>

○上下調整

引出底面にあるキャッチのダイヤルを回すことで引出を上下に調整できます。



【2. スライド扉（ソフトクローズタイプ以外の場合）】

○上下調整

固定ネジを緩め、上下調整ネジを回すことにより扉を上下に調整できます。調整後、必ず固定ネジを締め直してください。

○左右調整

左右調整ネジを緩め、扉を移動させて左右調整してください。調整後は必ず左右調整ネジを締め直してください。

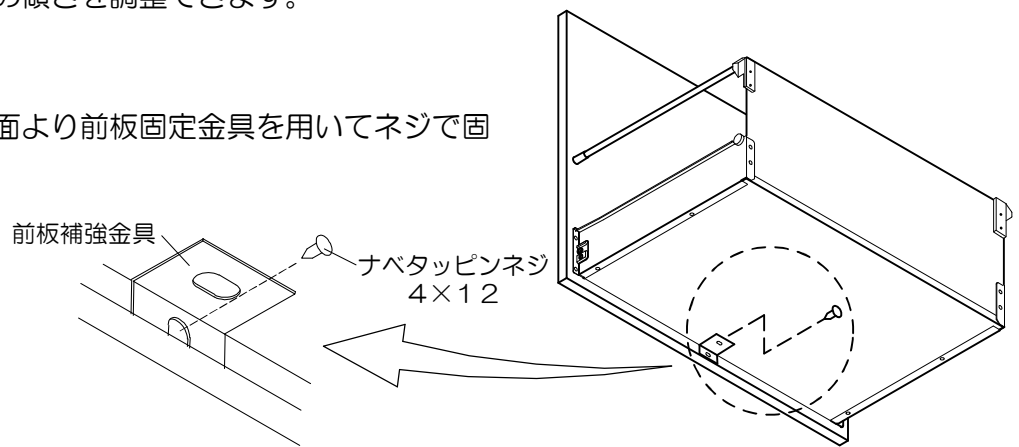
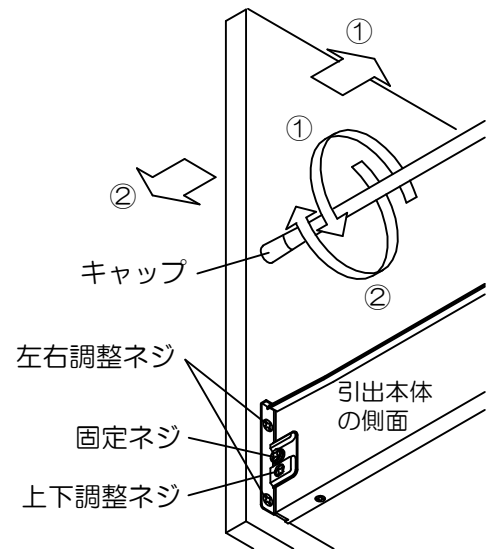
注) 引出本体の側面が「ハの字」にならないようにしてください。引出の開閉が重くなるおそれがあります。

○傾き調整

左右のバーに付いているキャップを、少し引き抜いた状態でまわすことにより、扉の傾きを調整できます。

○仕上げ

各調整終了後、引出裏面より前板固定金具を用いてネジで固定してください。



5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分を防カビタイプのシリコンでコーキング処理してください。

【2. 清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番のゆるみがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

③給排水配管と引出の干渉確認（スライドタイプ・足元スライドタイプの場合）

引出が給排水配管、食器洗い乾燥機・浄水器等への分岐配管、シャワーホース等と接触していないか確認してください。接触している場合は、接触しないように配管等の位置を調整してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書は、とりまとめてキャビネットの引出に収納してお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3. 梱包材その他設置用部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号
TEL 06-6962-1531

10154672

3A-1

SK60(H)設置説明書